4 14 -L 14 17	十八	27年度	7	務事業振	区ツンー	- -	平成26年度	夫他争未	:の旅返り)		
1. 基本情報 事務事業									担当部	総務部	
コード	9102010500020101 事務事業	左報 広報	広聴 総	※務管理事務	事業				担当課	秘書広報課	
政策名 施策名	07 新たな行政経営								グループ	広報広聴ク	゛ループ
施策名 基本事業名	03 市民と行政による 01 行政情報の共有		丘 活开	1					電話番号 内線番号	45-5111 1611	
					車業		単年度のみ	<i></i>	1 2400 144 5		
字 <u>芸計</u> 款 項 日	02 総務費 01 総務管理費				事業 期間		Ⅰ単年度繰返 〕期間限定複		度 H	17 年度~	~)
	05 広報広聴費				根拠法令・条件		一州间收足物	数十及(,
評価区分		平価対象			関連計	画					
	の概要・目的・指標	<do></do>	71/ Am	2 N							
・待合室用新聞 ・秘書広報課コ	業の概要(具体的なや 代(南日本、朝日、読売 ビー代及び消耗品 然料費、修理代、保険*	臣、毎日、西									
① 活動指標	(事務事業の活動量)					単位	24年度	25年度		27年度	28年度
ア公用車燃料	井.					リツトル	(実績)	(実績)	(実績) * 564	(見込)	(見込) 570
						i i i	***	**	* 504	600	570
1											
ウ											
(2) 事務事	業の目的	③ 対	会化	1 78			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
_	きにしているのか)			像 象の大きさを表	· :す指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 課内の各	種業務										
1											
ウ ウ											
4) 意図		⑤ 成	用比	抽			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をどう	したいのか)	_		1★ 図の達成度を表	・	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア 円滑に実	施される										
1											
· ウ											
(3) 上位の	计										
⑥基本事業		⑦基	本事	業の成果指権		274 /T	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのよう	な成果に結びつくのか)	/ (左記	⑥意图	図の達成度を表	す指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア市政情報を	共有する										
1											
<mark>ウ</mark>											
3 車務車業	の環境変化・市民意	目生		_			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	り巻く環境変化、市民や議会などから		4. ₹	事業費の推移		単位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
霧島市経営健全	全化推進計画(第2次/	(改定版)			支出金	千円			0	0	0
全財政を確立する全庁的に推進	策定)において、持続で けるため歳出削減に関す 生する必要があるとされ、	る取組	1	型 源 皿	出 金 方 債	千円			0	0	0
で、需用費や役	接務費については常にこな物品の購入や電気・	ストを意	1	棄 内 <u>~~</u>	方	千円			0	0	0
道の浪費等を崩れる	後に慎むこことで節減に ロスト縮減に資する機器	努め、まの道入等	投		財源	千円			961	831	1,444
を検討し、維持ている。	管理費の縮減に努める	こととされ	量	事業費		千円	0		0 961	831	1,444
C 1 "20											
			-								
5. 平成26年	度の実績及び成果								<u> </u>		
		<取組内容を数	数値等に	こより具体的に記載	(2)	严成26年	年度の成果	<左	記の実績(取組)	こよる成果を記載	₹>
○コピー仕	費 229,620円 240,000円				課内0)各種事	務事業を円	滑に遂行~	することができ	た。	
○公用車燃料	240,000円 費 72,348円 及び修繕費 84,531円	ı									
○公用車保険	幹 37,898円	I									
○公用車重量 ○備品購入費	≰祝 7,800円 ₹(ストロボ・外付けハー]	·ディスク)9	93,931	円							

	事務事業コード	01020	10500020101	事 務事業名	広報広	聴総務管	管理事務事業	担当部担当課		多部 な報課
6.	振り返り	<see></see>						理由	l	
	① この事	務事業0	り目的は、基本	事業の意図に終	昔びついています	すか?				
		結びつ	いている							
		間接的	に結びついてし	いる						
A目的妥当性		結びつ	いていない							
性性			ぜ市が行わない て達成する目的	tればならない <i>0</i> りですか?	つですか?					
		妥当で	ある							
		見直す	必要がある							
	③ 成果/	が向上する	る余地(可能性) はありませんか	٧?					
		向上す	る余地はかな ^し	 りある						
		向上す	る余地はある和	 呈度ある						
		向上す	る余地はほとん	しどない						
В	4 廃止・	休止の影	響はありません	んか?						
B有効性		影響が	 ある							
性		影響が	ほとんどない							
				形態(イベントや原の主体が実施する	************************************	の事務	類似事業がある場 合の事務事業名等			
			事業はない	·····································	, 500 E E G .)					
		類似の	事業はあるが、	. 統合又は連携	できない					
		類似の	事業があり、紛	合又は連携で	 きる					
	6 ·事務	事業の手段金など、交付	と(やり方)を工夫	することで、事業費	を削減できません できませんか?		各事務事業を遂行し きない。	ていくために必	要最低限の経費	であり、肖
	110-23	削減で		C 11000 901 2 11111	W CC 01 C 10 10 1					
ç		削減で	 きる							
効率		事業の手段	と(やり方)を工夫	することで、人件費	貴(延べ業務時間)		事務に係る時間は伝		り、必要最低限	な時間で
性	(7) できまっ ・職員	ション	や委託により人	件費を削減できま	せんか?		CA PCCN DUM	C.24.		
		削減で								
	_ 車数3	削減で		益者に偏っている 確保されていま	±++ 4. tv 2					
D 公	8 また、	受益者負	担の公平性が	確保されていま	すか?					
D公平性			公正である							
		見直す	必要がある							
7.	1次評価新	果 <f< th=""><th>PLAN>(組制</th><th>畿決定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改革</th><th>改善の方向性≪</th><th></th><th></th><th>></th></f<>	PLAN>(組制	畿決定)	【参考】前	年度の改革	改善の方向性≪			>
)事務事業 善の方向性	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約	宿小 連携	統合	休止	廃山
								1,70 —		
	= 45001.012		0							
	3 4773 1.312		•秘書広報課』				で円滑に利用する。等に支障を来してい	ために公用車予		
(2))平成27年	度の改	•秘書広報課』					ために公用車予		
(2)		度の改	•秘書広報課』					ために公用車予		
(2))平成27年 改善の内容	度の改	・秘書広報課原 ・広報用の一間	艮レフカメラが2台	さしかなく、取材	日程調整	等に支障を来してい	ために公用車予え ることから、カメラ		
(2))平成27年 改善の内容	度の改	・秘書広報課原 ・広報用の一間	艮レフカメラが2台	さしかなく、取材	日程調整		ために公用車予え ることから、カメラ		
(2) 革取 (3))平成27年 牧善の内容 り組むべき	度の改業課題)	・秘書広報課原 ・広報用の一間	艮レフカメラが2台	さしかなく、取材	日程調整	等に支障を来してい	ために公用車予え ることから、カメラ		
(2) 革取 (3))平成27年 牧善の内容 り組むべき	度の改業課題)	・秘書広報課原 ・広報用の一間	艮レフカメラが2台	さしかなく、取材	日程調整	等に支障を来してい	ために公用車予え ることから、カメラ		
改 (2) 革取 (3))平成27年 牧善の内容 り組むべき	度の改業課題)	・秘書広報課原 ・広報用の一間	艮レフカメラが2台	さしかなく、取材	日程調整	等に支障を来してい	ために公用車予え ることから、カメラ		
改 (2) (2) (3) (向))平成27年 牧善の内容 り組むべき	度の改業課題)	・秘書広報課原 ・広報用の一間	同の各種事務事	さしかなく、取材	日程調整	等に支障を来してい	ために公用車予え ることから、カメラ		
改善(2)革政 (3)性)平成27年 牧善の内容 り組むべき)平成28年 生・取組目 2次評価編	度の改憲課題)	・秘書広報課瓜 ・広報用の一間 引き続き、課内	日の各種事務事	常しかなく、取材	日程調整するためい	等に支障を来してい	ために公用車予約ることから、カメラ		関係に対している。
改善(2)革(取 (3)性 (3)性 (1))平成27年 牧善の内容 り組むべき り来成28年 生・取組目 ⁷	度の改憲課題)	・秘書広報課の ・広報用の一間 引き続き、課内 当部長評価	同の各種事務事	さしかなく、取材	日程調整	等に支障を来してい	ために公用車予え ることから、カメラ	購入費の予算	である。 でる。 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で
改善(2)革(取 (3)性 (3)性 (1))平成27年 牧善の内容 り組むべき)平成28年 生・取組目 2次評価	度の改憲課題)	・秘書広報課の ・広報用の一間 引き続き、課内 当部長評価	日の各種事務事	常しかなく、取材	日程調整するためい	等に支障を来してい	ために公用車予約ることから、カメラ	購入費の予算	
改善(2)革(取 (3)性 (3)性 (1))平成27年 牧善の内容 り組むべき)平成28年 生・取組目 2次評価	度の改憲課題)	・秘書広報課の ・広報用の一間 引き続き、課内 当部長評価	日の各種事務事	常しかなく、取材	日程調整するためい	等に支障を来してい	ために公用車予約ることから、カメラ	購入費の予算	である。 でる。 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で
改 (2) 改 (3) 位 (3) 位 (3))平成27年 牧善の内容 り組むべき)平成28年 生・取組目 2次評価	度の改憲課題)	・秘書広報課の ・広報用の一間 引き続き、課内 当部長評価	日の各種事務事	常しかなく、取材	日程調整するためい	等に支障を来してい	ために公用車予約ることから、カメラ	購入費の予算	である。 でる。 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で

事務事コード	0102010500020101	事 務事業名		広報広聴	総務管理事務	事業	担当部		於務部 計広報課
9. コス	トの推移								
	(単位:千円)	平成26年	度(決	算)	平成27年	变(当初予算))	平成28年度	(計画)
1 報	Me Section 5								
2 給									
	战員手当等 ************************************								
4 5 災	済 費								
7 賃									
8 報							0		30
9 旅							0		176
10 交 11 需				821			819		825
	消耗品費			645			645		651
	燃 料 費			72			74		74
	食糧費			0			4		50
	印刷製本費 光 熱 水 費			20			50		50
	修繕料			84			46		50
	賄材料費								
	飼料費								
12 役	医薬材料費 務 費			38			12		13
^	通信運搬費			00			12		10
	広 告 料								
	手数料						0		
13 委	保 険 料			38			12		13
	用料及び賃借料								
15 I	事請負費								
16 原									
	清財産購入費 品 購 入 費			94			0		400
	担金補助及び交付金			31			0		100
20 扶									
21 貸	1 1 宝								
	償補填及び賠償金 還金利子及び割引料								
	と資及び出資金								
25 積									
26 寄				0					
27 公 28 繰				8			0		
計				961			831		1,444
特	国庫支出金			0			0		
財源内 特定財源	県 支 出 金 地 方 債			0			0		
財源内訳	地 万 恒			0			0		
訳	- 般 財 源			961			831		1,444
	計			961			831		1,444
補助]率 県								
補目	助基本額								
	年度補正•流用状	·····································		平成26年	度特定財源内				
}	当初予算		808		区分	·	名称		金額
	補正予算		0						
			\dashv						
			\dashv						
			\blacksquare						
			-						

流用・充用 予算合計

94

1,002

合 計

				<u> </u>	(Z/+/	又	尹衍尹未派	<u> </u>	(平成20年度	、夫他争え	長の振返り)	
1. 基本	情報											
事務事	業	01020101	00010101	車 数 車 き	柴夕 古	TH TH A	労者表彰事務				担当部	総務部
	ド	01020101	06010101	事份事:	* 10 III	以り	力有衣衫爭伤		担当部 総務部 担当課 秘書広報課 グループ 秘書グループ 電話番号 45-5111 内線番号 1211 事業 期間 □ 単年度のみ ■ 単年度繰返 (開始年度 H19 年度~) □ 期間限定複数年度(~) 霧島市民表彰に関する規則			
政策	名	06	共生	協働のま	ちづくり						グループ	秘書グループ
施策	名	01	市民	参加による	らまちづく	りの推	進				電話番号	45-5111
基本事	業名	01	まち~	づくりに関	する意識	の醸成	Ì.				内線番号	1211
予	会計	一般	会計					± ₩	□ 単年度の	み		
算	款	02	総務	費				事未 期間	■ 単年度繰	返 (開始 [£]	F度	H19 年度~)
予 算 科 目	項	01	総務	管理費				20 11⊨1	□ 期間限定	複数年度	(~)
Ħ	目	01	一般	管理費				根拠法令·条例等	霧島市民表彰に	こ関する規	則	
評価区	☑分	,	標準部	F価	評価対	象	1次評価	関連計画				
2. 事務	事業(の概要	要∙目	的·指標	<do< th=""><th>></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></do<>	>						

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

本市の行政、教育、文化、産業、経済、社会事業及びその他の公益の事業に関して、著しい功績のあったものを11月7日の市制施行日に表彰し、その功績を讃える。そのことにより、市民へのまちづくりの意識の醸成をはかる。 業務手順(対象者選考、案内関係事務、表彰状等作成、会場準備、本番)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
① / / / / / / / / / / / / / / / / / / /		+ 12	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア表彰式開催回数		回	1	1	1	1	1
1							
<mark>ウ</mark>							
(2) 事務事業の目的							,
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市政功労者	対象者数	人·団体	147	118	103	100	100
1							
o							
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度 (目標)
ア 表彰される	のべ被表彰者数(平成19年度からの合計)	人·団体	713	831	934	1,034	1,134
1							
o							
(3) 上位の基本事業							'
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
アまちづくり活動に関心を持つ	まちづくり活動に参加している市民の割合	%	71.5	69.3	69.1	73.0	74.0
1							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等) 合併前に各市町で行なわれていた表彰を新た に霧島市として継承する方法を検討し、平成19 年度に規則を制定して実施している。

ゥ

4.	事美	类費	o i	隹移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度 (計画)
			国	庫3	を出	金	千円	((八升)	((八年)	((八升)	(日四)	(日四)
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投			_	般	財	源	千円	638	451	430	490	0
投入量		哥	業	費			千円	638	451	430	490	0
												_

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載

(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記

功績部門(1名)、永年勤続部門(34名)、成績優秀部門(63名)、特別表彰(4名)、感謝状(1名) 計103名

本市の市制施行日を記念し、さまざまな分野から功績のあった市民を表彰することにより、市民一体となった意識の向上が図られた。

1		事業ード	01020	10106010101	事務事業名	市政	功労者	表彰事	務	担扣	当当	部課		務部 広報課
6		J返り <	(SEE)	•	- 子木山					12		_	松音	ム戦味
-	_				事業の音図に終	古びついています	-h/2			ることに			の発展や公益	並の増進に結び
					ず未 の 心 囚 に 小	BO. 20. Co. & 9	<i>7</i> 5 · .	ついてい	い る。					
A	_			いている	. 7									
目的	_			に結びついてし	\ გ									
目的妥当性	H			いていない ぜ まがたわなけ	th 1#toc to 10	りですかっ		市政の名	8展に功労に	あった	古力	か表彰	ナスニレけ 戸	ちの責務であり
性	2	·税金	を投入し	ぜ市が行わなけて達成する目的	ですか?	0 69 % :		妥当であ		.00) 21		C 2X 49	7.00014(1	147 頁 4万 (107)
			妥当で	ある										
			見直す	必要がある										
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか	١?		意図的は						表彰者の数を はないものと考
			向上す	る余地はかなり	ある			える。						
			向上す	 る余地はある程	 建度ある									
			向上す	 る余地はほとん	どない									
L	4)	廃止・	木止の景	ジ響はありません	か?			市民に市	万政への関心	が薄れ	い、連	帯感を	弱めることに	なる。
B有効性	_	.	影響が											
性	_			 										
		粗化の			形能(イベントや)	 	の事務	類似 事	■業がある場					
	(5)			んか?(市以外の					務事業名等					
			類似の	事業はない										
	<u> </u>			事業はあるが、										
L				事業があり、統				加士会士	エ 。の学体: **	哲纪. 在	-to-, -to-	会日む	じの 2 両具,	1.四の悪田の
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	役(やり万)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業質、、市の負担を削減	費を削減できません 域できませんか?	か?		、削減は困難			小田小	C 77 业安取/	小限の費用の
			削減で	きない										
C 効			削減で	きる										
率性	7	・事務事できませ	業の手段	役(やり方)を工夫で	することで、人件費	費(延べ業務時間)を	を削減		き務時間につ :困難である。	いては	は、最	小限の	時間で対応、	できているので
-		•職員以	人外の対応	なや委託により人	牛費を削減できま	せんか?								
	<u> </u>			きない										
H		車数車	削減で	さる <mark>容が一部の受益</mark>	* 孝に停っている	±++ / - h · 2		其淮を割	けることで公	・亚性が	ン確任	リてい		
D公平:	8			担の公平性が									求めるもので	はない。
平性			公平・岔	公正である										
<u>'</u>			見直す	必要がある										
7.	1次	評価結	果 <i< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>快定)</th><th>[参考]前:</th><th>年度の改造</th><th>革改善の方に</th><th>向性≪</th><th></th><th>á</th><th>継続</th><th></th><th>></th></i<>	PLAN>(組織	快定)	[参考]前:	年度の改造	革改善の方に	向性≪		á	継続		>
(1) 車	務事業の	カみ苦	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	П	統合		休止	廃止
		方向性		0	. ,,,,,,,,,	W W 1,125		TIM 5	~23		1,70 —			
				平成27年度は	 	【 Fであるため、記』	念事業と	の融合を	と図り、10周年	上 Fの節	目によ	っさわし	い各部門で	<u> </u> の新たな功労
(2)) जर ।	成27年月	年のみ			最小限の費用、 者名簿等のデー							の確認がスノ	〜 一ズになるよう
革	火善	の内容												
(A)	ソ和	1672	沐 超/											
				平成28年度に	ついても市制施	行目を記念し、さ	(まズキナ	つ分野から	う功績のあっ	た市戸	を表	影すス	ことにより 声	民一体とたっ
						、基準に沿って					4630	+9 / SJ	CC(C&)(1)	TA IFC.
		成28年月												
11431	T 4	IX NII II 17	7											
				<u> </u>										
8.	2次	評価結	果(排	当部長評価)										
				継続	おいナン・ギ	コフレザカ	-71	公 定力、	ょせ		歩 ろ		休止	廃止
		務事業の 向性	の収革		やり方改善	コスト拡充	コスト	세타기,	<u>連携</u>		統合			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
														L
(2)総	評												

	事業 ード	0102010106010101	事 務 事業名		市政功	力労者表彰事務		担当部担当部		総務部 書広報課
9. =	コストの	推移						12 - 14	1201	
		(単位:千円)	亚成264	年度 (決	上質)	亚成27年度	(当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報	· M	1 /2020-	T/X (//	(31-7	1 10021 710	(10)		1 1220 - 12	(піш/
2	+V 給	 料								
3	職員	手 当 等								
4	共 #	済費								
5 7	<u>災</u> = 賃	子補 償 費 金								
8	 報	 償 費			312			363		363
9	旅	費								
10	<u>交</u>	際 費			110			101		101
11	需消	用 費 耗 品 費			116 95			121 95		121 95
	燃									
	食									
		刷製本費 熱 水 費			21			26		26
	危									
	賄	材料費								
	飼									
12	医 役	薬材料費 務 費			2			6		6
12	_	信運搬費			2			6		6
	広	告 料								
	手									
13	保 委	険料 託料								
14		<u></u>								
15		請負費								
16		材料費								
17 18		財産購入費								
19		イバイン 文 補助及び交付金								
20	扶	助 費								
21		付 金								
23		i填及び賠償金 利子及び割引料								
24		及び出資金								
25	積	立 金								
26 27	<u>寄</u> 公	附 金 課 費								
28	 繰	<u></u> 出 金								
	計				430			490		490
	特層	庫支出金 支出金			0			0		
財源	特定財源国 県 地 そ				0			0		
財源内訳	,	の他			0			0		
沉	<u> </u>	般 財 源			430			490		
		計国			430			490		0
¥	甫助率	県								
補	助	基本額								
平成		₹補正•流用₺	大況			度特定財源内訴				
	当初]予算		490		区分		名称		金額
	# # 止	予算		0						

流用・充用 予算合計

				T /%	<u> </u>	T <i>I</i> 又_	于勿予未派		一(十成20千及 美胞争》	トの派送り)		
1. 基本	情報											
事務事	業	01020101		車 数 車 =	坐 力	六败市	· · · · · · · · · · · · · ·			担当部	総務部	
	ド	01020101	07020202	争份争为	未石	父际复	[判1] 事伤			担当課 秘書広報課 グループ 秘書グループ 電話番号 45-5111 内線番号 1211 年度のみ 日本度 日本度繰返(開始年度 日本度 日本度 日本度 <		
政策:	名	07	新たな	行政経常	営による	るまち~	づくり			担当部 総務部 担当課 秘書広報課 グループ 秘書グループ 電話番号 45-5111 内線番号 1211 単年度のみ 日本度繰返(開始年度 日本度 財間限定複数年度(一次		
施策	名	02	信頼さ	れる行政	女経営(の推進				電話番号	45-5111	
基本事	業名	02	効果的	りで効率に	的な組	織・機	構、業務の構築			内線番号	1211	
予	会計	一般	会計					+ *	□ 単年度のみ			
算	款	02	総務費	ŧ				事業期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度 H	21 年度~)	
予 算 科 目	項	01	総務管	管理費				初申	□ 期間限定複数年度(~)	
目	目	01	一般管	管理費				根拠法令·条例等	特になし			
評価区	조分	1	簡易評	価	評価	対象	1次評価	関連計画				
2 事務	事業(の概点	更•日白	内-指標	<	Do>						

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市長が行政執行上、あるいは、市の利益のために、市を代表して外部との交際・交渉をするために要する経費である「交際費」を、交際費支出基準 (平成21年から適用)に基づき、範囲及び額を必要最小限度に執行する。また、執行状況を市の広報誌やホームページで公開する。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
少儿或旧 体(事物事条以后勤重)		+12	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 交際費の執行件数		件			65	65	65
1							
o							
(2) 事務事業の目的							
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 行政執行上支出を必要とする者	(江山の川家が八ささを次り1日宗)		(大順)	(大順)	(大順)	(元达)	(元之)
イ 市の利益のために支出を必要とする者							
b							
④ 意図(②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア 行政執行に寄与する							
イ 市に利益をもたらす							
<mark>†</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図(さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
アスリム化が図られる							
イ 効果的、効率的な行政サービスを提供できる							
j							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

交際費はその使途が特に市民の疑惑を受けや すい経費であるので、支出の範囲や額について は必要最小限度にとどめることや適切な情報公 開が求められている。

4.	事訓	类費	の持	佳移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度
				_		^		(次昇)	(次昇)			(計画)
			国	庫っ	と出	金	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円			0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円			677	1,000	0
量		耳	業	費			千円	0	0	677	1,000	0

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載

会費13件 104,000円 慶祝34件 361,245円 懇談 0件 0円 激励 1件 10,000円 日 慰11件 157,200円 【その他】6件 45,040円 計 65件 677,485円

交際費支出基準に基づき、市長が行政執行上、あるいは、市の利益のために市を代表して外部との交際・交渉をする際に、必要最小限度の範囲及び額でに執行できた。また、執行状況についても1か月単位で市の広報誌やホームページに掲載した。

_	事務事業コード	01020	10107020202	事 務事業名	交	き際費執	行事務	担当部		務部 広報課
6.	振り返り	<see></see>	•					理日	<u> </u>	
	① この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に約	昔びついています	ナか?				
		結びつ	いている							
A		間接的	に結びついてい	いる						
A目的妥当性		結びつ	いていない							
当性			ぜ市が行わなけ て達成する目的	ければならない <i>α</i> りですか?	つですか?					
		妥当で	ある							
		見直す	必要がある							
	③ 成果#	が向上する	る余地(可能性)) はありませんか	١?					
		向上す	る余地はかなり	 りある						
		向上す	る余地はある私	 呈度ある						
		向上す	る余地はほとん	しどない						
В	4 廃止・	休止の影	/響はありません	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・						
B有効性		影響が	 ぶある							
性		影響が	ほとんどない							
	⑤ 類似(c)	D目的(対	 象・意図) 又は なかっ(声) ぬ	形態(イベントや原 の主体が実施する	啓発等)を持つ他	の事務	類似事業がある場 合の事務事業名等			
	事未16		事業はない	ンエ IPM 天 肥 9 で	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		口マチのデ木口寸			
				 、統合又は連携 [・]	 できない					
		類似の	事業があり、紡	合又は連携でき	 きる					
	6 :事務	事業の手段	というとして (かり方)を工夫では (かりた)	することで、事業費	と と しまませんか?	か?	支出基準に基づいた	:必要最小限の	支出であり、削減	域は困難で
	1893.	削減で		C TO ALL CHIMS	% CC & C7010 .		2			
ç		削減で	きる							
効率			设(やり方)を工夫 [・]	することで、人件費	貴(延べ業務時間)		現在の業務時間にて、削減は困難である。		艮の時間で対応	できている
性		せんか? 以外の対応	なや委託により人	件費を削減できま	せんか?		、日小ダイム四天社(など)。			
	•	削減で	きない							
	市政司	削減で		益者に偏っている 確保されていま	t#/ \ \ \ \ \					_
D 公	8 事務 また、	受益者負	担の公平性が	確保されていま	すか?					
D公平性			公正である							
		見直す	必要がある							
7.	1次評価新	课 <f< th=""><th>PLAN>(組制</th><th>談決定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改革</th><th>政善の方向性≪</th><th></th><th></th><th>></th></f<>	PLAN>(組制	談 決定)	【参考】前	年度の改革	政善の方向性≪			>
)事務事業 善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小 連携	統合	休止	廃山
ᆲ	当の力 回语	-	0							
改製										
改章			合併による行政	枚規模の拡大とと めに交際費を支	もに、市長等が 出する必要があ	出席する るのかを	会議・行事等の件数 十分に検討の上、交		とから、行政執行 に基づき適切に	」 ナ 上、あるい 執行する。
(2))平成27年 改善の内容		合併による行政	女規模の拡大とと めに交際費を支	もに、市長等が 出する必要があ	出席する るのかを		・ も増えているこ 際費支出基準	とから、行政執行 に基づき適切に	テ上、あるい 執行する。
(2))平成27年 改善の内容 り組むべき		合併による行政	枚規模の拡大とと めに交際費を支	もに、市長等が 出する必要があ	出席する るのかを	会議・行事等の件数 十分に検討の上、交	・ も増えているこ 際費支出基準	 とから、行政執行 に基づき適切に	- 庁上、あるい 執行する。
(2)	改善の内容		合併による行政 市の利益のたと	めに交際費を支	出する必要があ	るのかを	十分に検討の上、交	際費支出基準	に基づき適切に	執行する。
(2)	改善の内容		合併による行政市の利益のたと 中の利益のたと 平成28年度に がある場合は、	めに交際費を支 ついでも、市長が 交際費支出基	出する必要があ	あるいは、	会議・行事等の件数 十分に検討の上、交 中の利益のために、 度の範囲及び額で執	際費支出基準 市を代表してダ	に基づき適切に	執行する。
(2) 革改 (取	改善の内容 り組むべき	課題)	合併による行政市の利益のたと 中の利益のたと 平成28年度に	めに交際費を支 ついでも、市長が 交際費支出基	出する必要があ	あるいは、	十分に検討の上、交	際費支出基準 市を代表してダ	に基づき適切に	執行する。
(2) 革改 (取	牧善の内容 り組むべき	課題)	合併による行政市の利益のたと 中の利益のたと 平成28年度に がある場合は、	めに交際費を支 ついでも、市長が 交際費支出基	出する必要があ	あるいは、	十分に検討の上、交	際費支出基準 市を代表してダ	に基づき適切に	執行する。
(2) 革改 (取	改善の内容 り組むべき	課題)	合併による行政市の利益のたと 市の利益のたと 平成28年度に がある場合は、	めに交際費を支 ついでも、市長が 交際費支出基	出する必要があ	あるいは、	十分に検討の上、交	際費支出基準 市を代表してダ	に基づき適切に	執行する。
(2) 革改 (3)	改善の内容 り組むべき	度の方票	合併による行政市の利益のたと 市の利益のたと 平成28年度に がある場合は、	めに交際費を支 ついても、市長だ 交際費支出基証 別する。	出する必要があ	あるいは、	十分に検討の上、交	際費支出基準 市を代表してダ	に基づき適切に	執行する。
(2) 革改() (3) (向性	少善の内容 り組むべき シ平成28年 生・取組目 なっています。	要の方票	合併による行政市の利益のため 市の利益のため 平成28年度に がある場合は、 ムページで公園	めに交際費を支 ついても、市長な 交際費支出基注 別する。	出する必要があ が行政執行上、 変	あるいは、要最小限	十分に検討の上、交 市の利益のために、 度の範囲及び額で報	席費支出基準 市を代表してタ 3行する。また、	に基づき適切に	執行する。 渉をする心 広報誌や
(2) 革改(南性)	牧善の内容・リ組むべき・リ組むべき・取組目は	要の方票	合併による行政市の利益のため 市の利益のため 平成28年度に がある場合は、 ムページで公見	めに交際費を支 ついても、市長だ 交際費支出基証 別する。	出する必要があ	あるいは、	十分に検討の上、交 市の利益のために、 度の範囲及び額で報	際費支出基準 市を代表してダ	に基づき適切に 外部との交際・交 執行状況を市の	執行する。 渉をする心 広報誌や
(2) 革改(南性)	火善の内容 り組むべき ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	要の方票	合併による行政市の利益のため 市の利益のため 平成28年度に がある場合は、 ムページで公見	めに交際費を支 ついても、市長な 交際費支出基注 別する。	出する必要があ が行政執行上、 変	あるいは、要最小限	十分に検討の上、交 市の利益のために、 度の範囲及び額で報	席費支出基準 市を代表してタ 3行する。また、	に基づき適切に 外部との交際・交 執行状況を市の	執行する。 渉をする心 広報誌や
(2) 革改(取(3)) (3)	火善の内容 り組むべき ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	要の方票	合併による行政市の利益のため 市の利益のため 平成28年度に がある場合は、 ムページで公見	めに交際費を支 ついても、市長な 交際費支出基注 別する。	出する必要があ が行政執行上、 変	あるいは、要最小限	十分に検討の上、交 市の利益のために、 度の範囲及び額で報	席費支出基準 市を代表してタ 3行する。また、	に基づき適切に 外部との交際・交 執行状況を市の	執行する。
(2) 革取 (3) (1) 書	火善の内容 り組むべき ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	要の方票	合併による行政市の利益のため 市の利益のため 平成28年度に がある場合は、 ムページで公見	めに交際費を支 ついても、市長な 交際費支出基注 別する。	出する必要があ が行政執行上、 変	あるいは、要最小限	十分に検討の上、交 市の利益のために、 度の範囲及び額で報	席費支出基準 市を代表してタ 3行する。また、	に基づき適切に 外部との交際・交 執行状況を市の	執行する。 渉をする心 広報誌や

事務コ	事業 一ド	0102010107020202	事 務 事業名			交際	於費執行事務			!当部 !当課		総務部 書広報課
9. =	ストの	推移										
		(単位:千円)	平成26年	F度	(決算)		平成27年度	(当初予算)		平月	成28年度	(計画)
1	報	栖										
2	給	料										
4		手 当 等 済 費										
5	災											
7	賃	金										
8	<u>報</u> 旅	<u>償</u> 費 費										
10	交					677		1	,000			1,000
11	需	用 費				0			0			0
	消燃	耗品費 料費										
	食											
	印	刷製本費										
	光修	熱水費										
		繕料材料費										
	飼	料 費										
10		薬材料費							-			
12	役 通	務 費 信運搬費				0			0			0
	広	告 料										
	手											
13	保 委	険料 託料										
14		・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日										
15		請負費										
16 17		材 料 費 財産購入費										
18		い 産 期 八 頁 <u>-</u> 品 購 入 費										
19		補助及び交付金										
20	扶	助 費										
22	貸補償補	付 金 遠及び賠償金										
23		利子及び割引料										
24		及び出資金										
25 26	<u>積</u> 寄	<u>立</u> 金 附 金										
27	公	課費										
28	繰	出 金				0.55			0.00			1 000
	計	庫支出金				677 0			000,			1,000
月 ナ	特定県	庫 支 出 金 支 出 金 方 債 の 他				0			0			
財源内訳	財地源	方債				0			0			
訳		の 他 財源				0 677		1	,000			
		計				677			,000			0
*	甫助率	国										
		基本額										
		盔 	た		並	成26年		?				
1 /2	当初]予算		000	17		区分	·	名称			金額
	補口	予算		0								
				\dashv								
				\dashv	<u> </u>							
	流甲	・充用			_							
		合計	1,	.000				合 計				0

		平月	成27年度	Ą	事 彩	事	業振	返り	シ-	<u>-</u>	(3	平成26年	度	実施事業の	り振返り)		
1. 基本情報															10 M 40	An Whyder	
■ 事務事業 ■ コード	0102010	107020203 事務事	業名 公用 🛚	巨管	理美	養務									担当部 担当課	総務部 秘書広報制	B .
政策名	07	新たな行政経	党によるまち	づくり)										<u>担ヨ昧</u> グループ	秘書グルー	
施策名	02	信頼される行		_											フルーフ 電話番号	45-5111	
基本事業名	02	効果的で効率	的な組織・機	構、	業務	その様								ŗ	内線番号	1211	
子 会計		会計						亘	業			単年度(
予 第 款 項 日	02	総務費							澗					支 (開始年度 5**な安く	₹ H	19 年度	
科 <u>項</u> 目 目	01	総務管理費 一般管理費						根拠法	令·条例	alia d	<u>ロ</u> 特に		正修	夏数年度(~)
評価区分		簡易評価	評価対象		17	次評	価		直計i	_	1010						
2. 事務事業	の概要	要•目的•指標															
		概要(具体的な		、詳細	細を	記述	()										
市長及び副市	長の公	(務を効率的に	行うために、2	公用耳	車を:	2台西	記備する	るととも	に、「	嘱託	職員	を配置し	л, ў	重転業務と道	重行管理を行	すなう。	
【運転業務】 ・嘱託職員を	·雇用し	、市長・副市長	が公務を効率	図的に	こ行	うため	5のルー	ート設定	Eや5	安全	で法	令を順守	じ	と運転業務	を行う。		
【運行管理】 ・公用車2台	(市長百	車1台、副市長	車1台)を経費	節洞	おから	ヹ゚ りか	がらぇ	商切か	維持	:答田	里を行	デう					
2/11-21	(11) 12 -	+1 □ / □1 II IV.	十1日/乙/庄貞	, KI+1/5	4 C E	3//	.,, .,, ,	iii >√.₽	₩ Т 1 л	6/3	E &	1 /0					
													_	a = 5= ==			
① 活動指標	■ (事務	務事業の活動量	<u>t</u>)							単	位	24年月	-	25年度	26年度	27年度	28年度
											.1	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア市長及び副	市長の	公用車を使用し	た公務件数							14	#				827	800	800
1																	
ゥ																	
(2) 事務事	巻の	∃ 6/1											_				
② 対象	未の	円	③ 対	争划		1						24年月	Ŧ	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象	象にし、	ているのか)	_				:きさをま	表す指	標)	単	位	(実績	-	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア市長及び副		<u> </u>	(1,-31			7 7 7 1	,,,,			() ()		(5 (150)	(5000)	()4,2)	()2:(2)
	11177																
1																	
ゥ																	
4 意図			⑤ 成	果排	旨標					224		24年月	ŧ	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をど	うしたレ	いのか)	/ (左記	④意	図0	り達り	戊度を剥	表す指	標)	甲	位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア公務を効率	的かつ	安全に行える															
1																	
ウ																	
(3) 上位の																	
⑥ 基本事業							以果指			単	位	24年月	-	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのよ	うな成界	具に結びつくのか	3) / (左記	(6) 意	(図)	り達用	戊度を表	表す指	標)		_	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
アスリム化が図	図られる																
イ 効果的、効	率的な行	亍政サービスを提	:供														
ウ																	
												, ,		,	, _	,	,
3. 事務事業				4.	事	業費	の推和	多		単	位	24年月	-	25年度	26年度	27年度	28年度
		変化、市民や議会な おいて、環境化					国庫	士山	仝	千	. Ш	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
■節減の観点か	ら、ハン	イブリッド車への	移行が議			財		<u>又山</u> 5 出	金	千			_		0	0	(
会の一般質問 現在、公用車2	でも取 2台とも	り上げられたこ にハイブリッド፤	とがある。(車である。)		事業費	源	tth	方	債	_ <u>-</u> 千			_		0	0	(
				1	費	内訳	そ	<u>の</u>	他	千					0	0	(
				投		ш		" 别	源	千					3,034	3,253	(
				投入量		4	業費			千			0	0	3,034	3,253	(
				里							-				, -	, -	
				1													
				1													
				L													
5. 平成26年	度の	宇緒 及び成月											Т				

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

市長の公用車を使用した公務件数 676件 副市長の公用車を使用した公務件数 151件 【運転業務】 ・嘱託職員賃金 1名分 2,042千円 【運行管理】 ・管理経費(消耗品、燃料費、点検料等) 2台分 942千円 ・保険料 2台分 52千円・

(2) 平成26年度の成果 〈左記の実績(取組)による成果を記載〉 運転業務と運行管理を行なう嘱託職員を配置したことで、保有する2台の公用車を適切に管理することができ、市長及び副市長の公務についても 効率的に行うことができた。

_	事務 コー	-ド		10107020203	事務事業名	42	\$用車管	理業務	<u> </u>	担当	部課		於務部 法広報課
6.	振り	返り <	SEE>	•						理	由		
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	詰びついています	まか?						
			結びつ	いている									
A目的妥当性			間接的	うに結びついてい	いる								
的 妥			結びつ	いていない									
当 性	2	·この事 ·税金	事業をなを投入し	ぜ市が行わない て達成する目的	ければならないの りですか?	のですか?							
			妥当で	<u></u> :ある									
			見直す	 ⁻ 必要がある									
	3	成果が	「向上す	る余地(可能性) はありませんか)\?							
			向トす	 -る余地はかな ^し	 小ある								
				る余地はある種									
				る余地はほとん									
				ジ響はありません									
B有効性	4				<i>•••••••••••••••••••••••••••••••••••••</i>								
効 性			影響が										
		■□		ヾほとんどない 	・形能(イベントか)	啓発等)を持つ他	の事務	粉加	 事業がある場				
	5				の主体が実施する		5 ○ 万 丁 1万	合の	事務事業名等				
			類似σ	事業はない									
			類似の	事業はあるが、	、統合又は連携	できない							
					合又は連携で			古光弗	小(株本) 弗 上	♦/№ /□ №	4cl → 1244	6 tst //25 zm / z	ひ 両 4 2 具 4 円
	6	· 事務事 · 補助金	■業の手段 会など、交	役(やり万)を工夫 付先に働きかけて	することで、事業質で、市の負担を削減	貴を削減できません 或できませんか?	いか?		は燃料費、点材 みであり、削減			E村官理に	必安は取小り
			削減で	きない									
C			削減で	きょろ									
効				.c v									
効率	7	できませ	んか?	设(やり方)を工夫		貴(延べ業務時間)	を削減	長くなっ	託職員1名が っている。運転	業務を行う	属託職員	員を複数配	置することや
効率	7	できませ・職員以	んか? 以外の対応	设(やり方)を工夫 なや委託により人	することで、人件賽 件費を削減できま		を削減	長くなっ務担当	託職員1名が追っている。運転 課の職員が運 決地がある。	業務を行う	属託職員	員を複数配	置することや
効率	7	できませ ・職員以	しんか? 以外の対応 削減で	受(やり方)を工夫なや委託により人			を削減	長くなっ務担当	ている。運転 課の職員が運	業務を行う	属託職員	員を複数配	置することや
効率性		できませ ・職員以	いた。 以外の対応 削減で 削減で	受(やり方)を工夫 なや委託により人 できない	件費を削減できま	せんか?	を削減	長くなっ務担当	ている。運転 課の職員が運	業務を行う	属託職員	員を複数配	置することや
効率性	8	● 事務事	以外の対応 削減で 削減で 単業の内 受益者	では、 できる		せんか?	を削減	長くなっ務担当	ている。運転 課の職員が運	業務を行う	属託職員	員を複数配	置することや
効率性		●事務また、	はか? 以外の対応 削減で 削減で 業の内 受益者 公平・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	吸(やり方)を工夫 なや委託により人 だきない ぎきる 容が一部の受え 負担の公平性が 公正である	件費を削減できま	せんか?	を削減	長くなっ務担当	ている。運転 課の職員が運	業務を行う	属託職員	員を複数配	置することや
効率性 D公平性	8	できませい。●	はか? 対の対域 削減で 事業の内 受益子 見直す	では、 では、 では、 できないできるです。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	件費を削減できま 益者に偏っている 確保されていま	せんか?	を削減	長くなっ務担当	ている。運転 課の職員が運	業務を行う	属託職員	員を複数配	置することや
効率性 D公平性	8	できませい。●	はか? 対の対域 削減で 事業の内 受益子 見直す	吸(やり方)を工夫 なや委託により人 できない できる 容が一部の受え 負担の公平性が 公正である	件費を削減できま 益者に偏っている 確保されていま	ませんか?	を削減	長くなっ 務担当 できる分	ている。運転: 課の職員が運 会地がある。	業務を行う	属託職員	員を複数配	置することや
劝率性 D公平性 7 (1)	8 1次 事務	で・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が 対 が 対 が が 対 が が 対 が が 対 が が が が が が が	では、 では、 では、 できないできるです。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	件費を削減できま 益者に偏っている 確保されていま	ませんか?		長くなった。	ている。運転: 課の職員が運 会地がある。	業務を行う	嘱託職員 35ことな	員を複数配	置することや 業務時間を削
劝率性 D公平性 7 (1)	8 1次 事務	でき職□事また□□結	が 対 が 対 が が 対 が が 対 が が 対 が が が が が が が	B(やり方)を工夫 なや委託により人 できない できる 容が一部の受持 負担の公平性が 公正である ・必要がある	件費を削減できま 益者に偏っている 確保されていま	せんか? ませんか? ですか?	1年度の改革	長くなった。	ている。運転: 課の職員が運 会地がある。	業務を打ち	嘱託職員 35ことな	員を複数配 どにより、美	置することや業務時間を削
劝率性 D公平性 7 (1)	8 1次 事務	で・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が 対 が 対 が が 対 が が 対 が が 対 が が が が が が が	では、 では、 できる。 では、 できる。 では、 である。 である。 である。 である。 である。 の要がある。 PLAN>(組集)。 一部できる。 の単性が、 公正である。 の要がある。	件費を削減できま 益者に偏っている 確保されていま やり方改善 の 業務を担ってい	せんか? ませんか? (************************************	年度の改革コスト	長務できる分を改善の方を関いた。	でいる。運転は 課の職員が運 検地がある。 連携 く、多くの時間	業務を行うが 転業務を担 ・ 統合	嘱託職員 会生して	最を複数配子としてより、またよう。またよう。またよう。またよう。またよう。またまたまたまでは、またまたまでは、またでは、またでは、またでは、またでは、また	置することや 業務時間を削
力率性 D公平性 (1) き	8 事務	で・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	んか?対外の対域では、	はいます。 ないまする ないま	件費を削減できま 益者に偏っている 確保されていま やり方改善 でも見っている でも見っている でも見っている でも見っている では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	せんか? ませんか? ませんか? ますか? 「***** コスト拡充 る嘱託職員1名 の副市長東の追	年度の改革 コスト の業務時務	長務できる分解の大学を表現しています。	でいる。運転は 課の職員が運 余地がある。 連携 く、多くの時間が ブループが離員が	業務を行うう 転業務を担 統合 外勤務がが が組みため	嘱託職員 を 生間 で が	はを複数配ととにより、美 体止 いる。また発生	置することや 業務時間を削 廃止 嘱託職員のが
効率性	8 平成 平成 平成 平成 平成 平成 平成 一种	できませり	んか?対別 削減で 対対 削減 減で 内倉 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	図(やり方)を工夫 なや委託により人 できる 容が一部の受持 類担の公平性が 公正である PLAN>(組織 一般表表を行 であるが、単純 一様、単一ので表表を行 できまた、後述	件費を削減できま 益者に偏っていま では、これでいま を対方改善 でも長職を表 でも、これでは、 でも、これでは、 でも、これでは、 でも、これでは、 でも、これでは、 できまりでは、 できまりまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりできまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりまりでは、 できまりまりますは、 できまりでは、 できまりまりでは、 できまりますは、 できまりますは、	せんか? ませんか? (************************************	コスト の業業務務計 の業務務務計 の業務務務計	長務できる分解の大学を表現しています。	でいる。運転は 課の職員が運 余地がある。 連携 く、多くの時間が ブループが離員が	業務を行うう 転業務を担 統合 外勤務がが が組みため	嘱託職員 を 生間 で が	はを複数配ととにより、美 体止 いる。また発生	置することや 業務時間を削 廃止 嘱託職員のが
効率性	8 平成 平成 平成 平成 平成 平成 平成 一种	で・職 □ ■ *** □ ■ *** *** *** *** *** *** ***	んか?対別 削減で 対対 削減 減で 内倉 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	図(やり方)を工夫 なや委託により人 できる 容が一部の受持 類担の公平性が 公正である PLAN>(組織 一般表表を行 であるが、単純 一様、単一ので表表を行 できまた、後述	件費を削減できま 益者に偏っていま では、これでいま を対方改善 でも長職を表 でも、これでは、 でも、これでは、 でも、これでは、 でも、これでは、 でも、これでは、 できまりでは、 できまりまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりできまりでは、 できまりでは、 できまりでは、 できまりまりでは、 できまりまりますは、 できまりでは、 できまりまりでは、 できまりますは、 できまりますは、	せんか? ませんか? ますか? 「***** コスト拡充 る嘱託職員1名。 の副市長車のこと の変形電業務によ の変重転業務によ	コスト の業業務務計 の業務務務計 の業務務務計	長務できる分解の大学を表現しています。	でいる。運転は 課の職員が運 余地がある。 連携 く、多くの時間が ブループが離員が	業務を行うう 転業務を担 統合 外勤務がが が組みため	嘱託職員 を 生間 で が	はを複数配ととにより、美 体止 いる。また発生	置することや 業務時間を削 廃止 嘱託職員のが
効率性	8 平成 平成 平成 平成 平成 平成 平成 一种	で・職 □ ■ *** □ ■ *** *** *** *** *** *** ***	んか?対別 削減で 対対 削減 減で 内倉 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	はいます。 では、	体費を削減できま を者に偏っていま をおれていま やり方改善 の担人ので、 を表別を見、、 で、 のあり方にこ ついても、、 市長	せんか? ませんか? ませんか? ますか? コスト拡充 る嘱託職員1名 の副市長すること の変更転業務による ので副市長の公 なび副市長の公	の業務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務	長務できる分解を対しています。	でいる。運転では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	業務を行ううな ・ 統合 外勤務がめ、 が担うため、 全体と ともら、全体と	嘱託職員 を生間など として外には としてのが、	体止 い勤務が時間の により、彰時間の	置することや 業務時間を削 を 廃止 「嘱託職員が 場合が削減 も見込ま
効率性	8 事のご 平善(4) 単純(4) 単述(4)	でき、職 □ ■ みた □ □ 結	んか? 外の対域である。 がの対域である。 がの対域である。 は、では、 に、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 に、では、 は、では、 に、では、 は、 は、では、 は、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、では、 は、は、 は、は、 は、 は、は、 は、 は、 は、 は、	はいます。 では、	件費を削減できま 益者に偏っていま 確保されていま やり方改善 というのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	せんか? ませんか? ませんか? ますか? コスト拡充 る嘱託職員1名 の副市長すること の変更転業務による ので副市長の公 なび副市長の公	の業務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務	長務できる分解を対しています。	でいる。運転では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	業務を行ううな ・ 統合 外勤務がめ、 が担うため、 全体と ともら、全体と	嘱託職員 を生間など として外には としてのが、	体止 い勤務が時間の により、彰時間の	置することや 業務時間を削 を 廃止 「嘱託職員が 場合が削減 も見込ま
外率性 D公平性 7. (1)	8 事の 平	で・職 □ ■ *** □ ■ *** *** *** *** *** *** ***	んか?対外的対域である。 大小の対域では、大いの対域では、大いの対域には、大いのが対域には、大いのが対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いのがは、ないのがは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないの	はいます。 では、	体費を削減できま を者に偏っていま をおれていま やり方改善 の担人ので、 を表別を見、、 で、 のあり方にこ ついても、、 市長	せんか? ませんか? ませんか? ますか? コスト拡充 る嘱託職員1名 の副市長すること の変更転業務による ので副市長の公 なび副市長の公	の業務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務	長務できる分解を対しています。	でいる。運転では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	業務を行ううな ・ 統合 外勤務がめ、 が担うため、 全体と ともら、全体と	嘱託職員 を生間など として外には としてのが、	体止 い勤務が時間の により、彰時間の	置することや 業務時間を削 を 廃止 「嘱託職員が 場合が削減 も見込ま
外率性 D公平性 7. (1)	8 事の 平	で・職 □ 事ま □ 価結 *** *** *** *** *** *** *** *** ***	んか?対外的対域である。 大小の対域では、大いの対域では、大いの対域には、大いのが対域には、大いのが対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いのがは、ないのがは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないの	はいます。 では、	体費を削減できま を者に偏っていま をおれていま やり方改善 の担人ので、 を表別を見、、 で、 のあり方にこ ついても、、 市長	せんか? ませんか? ませんか? ますか? コスト拡充 る嘱託職員1名 の副市長すること の変更転業務による ので副市長の公 なび副市長の公	の業務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務	長務できる分解を対しています。	でいる。運転では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	業務を行ううな ・ 統合 外勤務がめ、 が担うため、 全体と ともら、全体と	嘱託職員 を生間など として外には としてのが、	体止 い勤務が時間の により、彰時間の	置することや 業務時間を削 を 廃止 「嘱託職員が 場合が削減 も見込ま
外率性 D公平性 7. (1)	8 事の 平	で・職 □ 事ま □ 価結 *** *** *** *** *** *** *** *** ***	んか?対外的対域である。 大小の対域では、大いの対域では、大いの対域には、大いのが対域には、大いのが対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いの対域には、大いのがは、ないのがは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないの	はいます。 では、	体費を削減できま を者に偏っていま をおれていま やり方改善 の担人ので、 を表別を見、、 で、 のあり方にこ ついても、、 市長	せんか? ませんか? ませんか? ますか? コスト拡充 る嘱託職員1名 の副市長すること の変更転業務による ので副市長の公 なび副市長の公	の業務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務	長務できる分解を対しています。	でいる。運転では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	業務を行ううな ・ 統合 外勤務がめ、 が担うため、 全体と ともら、全体と	嘱託職員 を生間など として外には としてのが、	体止 い勤務が時間の により、彰時間の	置することや 業務時間を削 を 廃止 「嘱託職員が 場合が削減 も見込ま
効率性 D公平性 7. (1)き (2革取 3)性 (3)性 (3)性 (3)性 (3)性 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	8 平 平 東の アー 東 平 声	で・職 □ 事ま □ 価結 *** *** *** *** *** *** *** *** ***	んかの対域域で、内側の対域域で、内側の対域域で、内側の対域で、内側の対域で、内側の対域で、内側の対域が、大型の対域で、内側の対域が、大型の対域が、対域が、大型の対域が、対域が、対域が、対域が、対域が、対域が、対域が、対域が、対域が、対域が、	はいます。 では、	件費を削減できま 造者に偏っていま 強決定) やり方改善 でも表別のあり方はついまで、このでは、このでは、できないでも、できる。 では、このでは、できる。できる。 でも、できる。できる。できる。 できまざいできる。できる。できる。 できまざいできる。できる。できる。できる。 できまざいできる。できる。できる。できる。 できまざいできる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。 できまざいできる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。	せんか? ませんか? ませんか? ますか? コスト拡充 る嘱託職員1名 の副市長すること の変更転業務による ので副市長の公 なび副市長の公	の業務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務	長務できる分解を対しています。	でいる。運転では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	業務を行ううな ・ 統合 外勤務がめ、 が担うため、 全体と ともら、全体と	嘱託職員 を生間など として外には としてのが、	体止 い勤務が時間の により、彰時間の	置することや 業務時間を削 を 廃止 「嘱託職員が 場合が削減 も見込ま
効率性	8 平落組 平下 取 平下	で・職 □ ■ 務た □ □ 結	かかの対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域では、内外の対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対しが、内外の対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対しが、内外の対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対	受(やり方)を工夫 なや委託により人 きさない ききる 容が一部の受え 強担の公平性が 公正である の本である PLAN>(組集 のの東長の転業また、 で表を秘、選転事でできため、 平成配置し、道	件費を削減できま 造者に偏っていま 強決定) やり方改善 でも表別のあり方はついまで、このでは、このでは、できないでも、できる。 では、このでは、できる。できる。 でも、できる。できる。できる。 できまざいできる。できる。できる。 できまざいできる。できる。できる。できる。 できまざいできる。できる。できる。できる。 できまざいできる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。 できまざいできる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。	せんか? ませんか? ませんか? ますか? コスト拡充 る嘱託職員1名 の副市長すること の変更転業務による ので副市長の公 なび副市長の公	の業務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務	長務でなった。本本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、	でいる。運転では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	業務を行ううな ・ 統合 外勤務がめ、 が担うため、 全体と ともら、全体と	属託出うことを 生間ではない。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	体止 い勤務が時間の により、彰時間の	置することや 業務時間を削 を 廃止 「嘱託職員が 場合が削減 も見込ま
効率性	8 平差組 平差	で・職 □ ■ 春た □ □ 結 *** *** *** *** *** *** *** *** *	かかの対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域では、内外の対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対しが、内外の対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対しが、内外の対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対	受(やり方)を工夫 なや委託により人 きさない きさる 容が一部の受が 強担の公平性が 公正である ・ 必要がある ・ PLAN>(組集 ・ 日長日転ぎた、運転車の市務な、運転車の市務な、運転車の市務な、運転車の表と、のの正式を表し、ののである。 である おおり おおり はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	体費を削減できま 益者に偏っていま 強決定) やり方改善 業務を担長公員職・ ・デラッ属・託・一ブ・大学・アラッ属・大学・アラッ属・大学・アラッ属・大学・アラッ属・大学・アラッスを表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	せんか? ませんか? ませんか? ますか? コスト拡充 る嘱託職員1名 変数配置すること の運転業務による ので副市長の公 変更を行なう。	年度の改革 コスト の 業務 務務 務務 事	長務でなった。本本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、	でいる。運転では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	業務を行うする ・ 統合 ・ 外勤ががから ・ を終めを全体と ・ 続き公用 ・ に続き、	属託出うことを 生間ではない。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	体止 い勤よ務め、時間の 配備すると	置することや削を削している。 「「「大きない」では、「ない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない
効率性	8 平差組 平差	で・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	かかの対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域では、内外の対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対しが、内外の対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対しが、内外の対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対	受(やり方)を工夫 なや委託により人 きさない きさる 容が一部の受が 強担の公平性が 公正である ・ 必要がある ・ PLAN>(組集 ・ 日長日転ぎた、運転車の市務な、運転車の市務な、運転車の市務な、運転車の表と、のの正式を表し、ののである。 である おおり おおり はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	体費を削減できま 益者に偏っていま 強決定) やり方改善 業務を担長公員職・ ・デラッ属・託・一ブ・大学・アラッ属・大学・アラッ属・大学・アラッ属・大学・アラッ属・大学・アラッスを表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	せんか? ませんか? ませんか? ますか? コスト拡充 る嘱託職員1名 変数配置すること の運転業務による ので副市長の公 変更を行なう。	年度の改革 コスト の 業務 務務 務務 事	長務でなった。本本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、	でいる。運転では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	業務を行うする ・ 統合 ・ 外勤ががから ・ を終めを全体と ・ 続き公用 ・ に続き、	属託出うことを 生間ではない。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	体止 い勤よ務め、時間の 配備すると	置することや削を削している。 「「「大きない」では、「ない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない
効率性	8 平	で・ ・	かかの対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域では、内外の対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対しが、内外の対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対しが、内外の対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対	受(やり方)を工夫 なや委託により人 きさない きさる 容が一部の受が 強担の公平性が 公正である ・ 必要がある ・ PLAN>(組集 ・ 日長日転ぎた、運転車の市務な、運転車の市務な、運転車の市務な、運転車の表と、のの正式を表し、ののである。 である おおり おおり はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	体費を削減できま 益者に偏っていま 強決定) やり方改善 業務を担長公員職・ ・デラッ属・託・一ブ・大学・アラッ属・大学・アラッ属・大学・アラッ属・大学・アラッ属・大学・アラッスを表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	せんか? ませんか? ませんか? ますか? コスト拡充 る嘱託職員1名 変数配置すること の運転業務による ので副市長の公 変更を行なう。	年度の改革 コスト の 業務 務務 務務 事	長務でなった。本本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、	でいる。運転では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	業務を行うする ・ 統合 ・ 外勤ががから ・ を終めを全体と ・ 続き公用 ・ に続き、	属託出うことを 生間ではない。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	体止 い勤よ務め、時間の 配備すると	置することや削を削している。 「「「大きない」では、「ない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない
効率性	8 平差組 平差	で・ ・	かかの対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域で、内外の対域では、内外の対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対しが、内外の対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対しが、内外の対域に対域に対し、内外の対域に対し、内外の対域に対域に対域に対し、内外の対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対	受(やり方)を工夫 なや委託により人 きさない きさる 容が一部の受が 強担の公平性が 公正である ・ 必要がある ・ PLAN>(組集 ・ 日長日転ぎた、運転車の市務な、運転車の市務な、運転車の市務な、運転車の表と、のの正式を表し、ののである。 である おおり おおり はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	体費を削減できま 益者に偏っていま 強決定) やり方改善 業務を担長公員職・ ・デラッ属・託・一ブ・大学・アラッ属・大学・アラッ属・大学・アラッ属・大学・アラッ属・大学・アラッスを表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	せんか? ませんか? ませんか? ますか? コスト拡充 る嘱託職員1名 変数配置すること の運転業務による ので副市長の公 変更を行なう。	年度の改革 コスト の業務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務務 高売ごう。	長務でなった。本本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、	でいる。運転では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	業務を行うする ・ 統合 ・ 外勤ががから ・ を終めを全体と ・ 続き公用 ・ に続き、	属託出うことを 生間ではない。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	体止 い勤よ務め、時間の 配備すると	置することや削を削している。 「「「大きない」では、「ない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない

事剂	多事業				用車管理業務		担当部担当課		
9. =	コストの	推移							
		(単位∶千円	平成26:	年度((決算)	平成27年	度 (当初予算)		平成28年度(計画)
1	報	西	1						
2	給	*							
3		手当等							
4	共	済 費							
5 7	<u>災</u> = 賃	字 補 償 費 金			2,041		2 (091	2,091
8	<u>导</u> 報				2,041		۷,0	331	2,031
9									
10	交	際 費							
11	需	用 費			941		1,0	032	946
		耗品費			6			10	10
	燃				721		(586	686
	食	2							
		;熱水費							
	修				214			336	250
	賄								
	飼		Ì						
		薬材料費							
12	役	務 費			52		-	110	55
		信運搬費							
	広手					1		-	
	保				52	-	-	5 105	<u>5</u>
13	<u> 体</u> 委	託 米			52	1		103	J.
14		<u>□□□□□□□□□</u> 料及び賃借#							
15		事請 負 費							
16	原	材 料 費	Ì						
17		財産購入費							
18		品購 入 費							
19		補助及び交付金						_	
20 21	<u>扶</u> 貸	<u>助</u> 费				<u> </u>		-	
22		 捕填及び賠償金						_	
23		利子及び割引料							
24	投資	及び出資金	È						
25	積	立 金							
26	寄	附 金							
27	公	課費						20	
28	繰計	出 金	Ē.		3,034		9 (253	3,092
		庫支出:	金		3,034		ა,,	0	3,092
	特 -		显		0			0	
財源内訳	財地	方	債		0	 		0	
内即	_		他		0			0	
司(_	般 財源	1		3,034			253	
		計			3,034		3,2	253	(
*	補助率	国果							
補	助	基本割	1						
		坐 小 □ €補正・流月			平成26年	┗ F度特定財源内			
1 145		フラ算		3,076	1 195,204	区分		5称	金額
	補口	F 予算		0					
				-					
				-					
			_		-				

当初予算	3,076
補正予算	0
流用・充用	0
予算合計	3,076

区分	名称	金額
	合 計	0

I	1. 基本	情報												
ı	事務事	業	0102010	107020204	事務事	サタ マ	£/(丰)	自教					担当部	総務部
ı	コート		0102010	101020201	ずがずっ	**1	化音号	芦1分					担当課	秘書広報課
I	政策	名	07	新たる	な行政経営	営によ	るまち~	づくり					グループ	秘書グループ
ı	施策의	名	02	信頼	される行政	女経営	の推進						電話番号	64-0916
I	基本事業	業名	02	効果I	的で効率に	的な組	l織・機	構、業務の構					内線番号	1212
I	予	会計	一般	会計						+ *	□ 単年	度のみ		
ı	算	款	02	総務	費					事業 期間	■ 単年	度繰返 (開始	年度 H	17 年度~)
ı	予算科目	項	01	総務	管理費					初申	□ 期間	限定複数年度	:(~)
ı	目	目	01	一般	管理費					根拠法令·条例等	特になし	·	·	
	評価区	分		標準部	平価	評価	対象	1次評	価	関連計画				

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市長・副市長の秘書業務(公務日程管理、公務に伴う資料作成、来客対応、公務関連情報の収集と市政の情報発信等) (報償費)来客時や出張時に渡すお土産等の購入、各種行事の際の市長賞の品物の購入に使用する。 (旅 費)市長・副市長の会議等出席による旅費 (需用費)新聞代、来客用お茶代、三役名刺印刷代 (役務費)電話料、切手・はがき代、新聞新年広告代 (委託料)懸垂幕作成委託 (使用料)タクシー利用料、駐車場・有料道路利用料 (負担金)各種会議出席負担金、各種協議会分担金・会費

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	旅費が発生した出張件数		件	(大/)與/	(大/)(人)	72	72	72
1	旅費が発生した出張に随行した件数		件			34	34	34
ゥ	市長賞の交付及び懸垂幕の作成人数		人			49	49	49
(2	2) 事務事業の目的							
_	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	市長、副市長	人数	人			3	3	3
1								
ゥ								
_	 意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	公務が円滑に行える	市長・副市長の公務に支障があった件数	件			0	0	0
1								
ゥ								
(3	B)上位の基本事業			,				
_	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	スリム化が図られる	組織の数	部へ向き文羽ノ橋デループ等	13/(5)/87/221	12/(5)/86/211	12/(5)/85/209	13/(5)/75/190	11/70/180
1	効果的、効率的な行政サービスを提供 できる	迅速で的確な行政サービスが提供されていると思う市民の割合	%	51.1	50.6	53.9	61.0	64.0
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

合併による行政規模の拡大や行政需要の増大 により、市長や副市長等が出席する会議・行事 等の件数も増えていることから、より効率的な公 務の遂行が求められている。

4	車重	生物	_ל תי	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	- Table 2		,001	E1>			+12	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			国	庫は	と出	金	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	Ø)	他	千円			0	0	0
投 入量			_	般	財	源	千円			6,509	6,952	0
量		事	業	費			千円	0	0	6,509	6,952	0

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

<左記の実績(取組)による成果を記載>

【報償費】 519,372円 【旅 費】 3,904,425円 【需用費】 250,592円(消耗品費、食糧費、印刷製本費) 【役務費】 263,790円(通信運搬費、広告費、手数料) 【委託料】 448,200円 【使用料及び賃借料】 505,620円 【負担金補助及び交付金】 624,030円 合 計 6,516,029円

市長、副市長の公務を円滑に行うことができた。

Ę	事務:	事業 -ド	01020	10107020204	事務事業名		秘書	事務		担扣		部 课	総務部 必書広幸	
6	_		SEE>	•	7.4					ഥ		<u>*</u> 1	必音仏羊	以市本
	_				事業の意図に終	古びついています	- か ?		副市長が公務を				り推進や	公益の増
	•				4- >/C 4-> /C (E-1)	10 27 (7 01)		進に箱	びついている。					
A				いている に結びついてし	<u> </u>									
目的				いていない										
目的妥当性	<u> </u>			ぜ市が行わなけ	ればならないの			市民の	代表として行う	市長や	副市長	長の公務は、	市政の推	推進や公益
性	2	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?			の増進	のために必要	である。				
			妥当で											
			見迫す	必要がある				小 終日	程を工夫するご	ーレで	効率的	1に公路を行	テス全州	がある
	3	成果が	「向上する	る余地(可能性)	はありませんか	٥١٠?		255	在とエステン		/y3 - F 3	70233211	/C 0/1//	IN 65 00
			向上す	る余地はかなり	ある									
			向上す	る余地はある程	建度ある ニーニー									
			向上す	る余地はほとん	どない			t rh o	光生やハナの	L始`供) >	: こ 7 限	*** フ		
물	4	廃止•	休止の影	/響はありません	か?			市政の	推進や公益の	増進に	-影響77	· <i>め</i> る。		
B有効性			影響が	ある										
111			影響が	ほとんどない										
	(5)			 象・意図) 又は んか?(市以外の		啓発等)を持つ他 るものを含む。)	の事務		事業がある場 事務事業名等					
		-	類似の	事業はない				類似の	事業はない。	1				
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる								
	6	·事務事 ·補助金	業の手段	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	か?	公務出などに	張については、 より旅費を削減	格安ける余	航空券:地があ	の利用や公 る。	用車を活	用すること
			削減で											
C 効			削減で	きる										
率	(7)		業の手段	设(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減		日程については ことで作業の簡					
性	W			なや委託により人作	井費を削減できま	せんか?		。 ・公務!	こ伴う挨拶文や	寄稿文	て等の資	資料作成につ	ついては.	担当課か
			削減で					らの情	報提供体制を整 善の余地がある	をえるこ	ことや担	当課に作成	を担って	もらうなど
		古双走	削減で		・キーケー・	+117.45.0		在尼 泰	団体からの公剤	女法語	がなわ	げ口犯調敷	が〜/か	ギルサウ1
D 公平:	8	事務事また、	受益者負	容が一部の受益 担の公平性が	確保されていま	ませんか?		ている	ことから、受益機 はない。					
華性			公平・公	公正である				0.2 (,						
			見直す	必要がある										
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>快定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改</th><th>革改善のフ</th><th>方向性≪</th><th></th><th></th><th></th><th>></th><th></th></f<>	PLAN>(組織	快定)	【参考】前	年度の改	革改善のフ	方向性≪				>	
(1)	事系	答事業(か改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	i	統合	休止		廃止
		方向性		0	0		()						
						▲ 出張時の行程明 、課員に周知し、							00	
		戊27年 月		一时及員の文刊	100 100 C	、味貝に向加し、	15 3 15	73-71-1III.	<i>79</i> 日 C 6 X 1 N L	, , ,	1471C)	, ₂₀		
		の内容 lむべき												
				平成28年度に	ついても、引き絡	売き、市長・副市	長の公剤	务を円滑	た行うために通	通切な	業務を行	行う。		
(2)	. 17 ⊏	成28年月	≠の 七											
		双組目標												
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)										
		多事業(の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	á	統合	休止		廃止
仪割	5万	向性 												
(2)	総	≣亚												
(2,	UAC)	пΤ												

事務コ	事業 ード	010201010	07020204	事 務事業名	務 業名 秘書事務				担当担当			総務部 書広報課	Į.		
9. =	ストの	推移													
		(単位:	千円)	平成26年	丰度	(決算	.)	平成2	7年度	(当初予算	<u> </u>	平成2	28年度	(計画)	
1	報		酬												
2	給		料												
3		手当													
5	共然事	<u>済</u> 子補 償	費												
7	賃	可用原	金												
8	 報	償					519				500				500
9	旅		費				3,905				4,021				4,021
10	交	際	費												
11	需	用	費				251				426				426
	_	耗品					52				53				53
	燃食		費 費				39				132				132
		□■性□□■■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■					160				241				241
		熱水					100								
	修		料												
	賄	材料	費												
	飼		費												
		薬材料													
12	役	務	費				264				220				220
	造	信運搬	料料				109 153				114				114
	手		料				2				2				2
	· 保		料												
13	委	託	料				448				260				260
14		料及び賃					498				420				420
15		請負													
16		材 料 財産購 <i>,</i>	費												
17		n 连蚺。 品購入									-				
19		補助及び3					624				1,105				1,105
20	扶	助	費												
21	貸	付	金												
22		博及び賠													
23		利子及び害													
24 25	投貨 積	及び出う 立	金金								-				
26	<u>惧</u> 寄	<u>- ソ</u> 附	<u>亚</u> 金												
27	公	課	 費												
28	繰	出	金												
	計						6,509				6,952				6,952
	特国	庫支					0				0				
財	定児	支出					0				0				
財源内訳	特定財源		<u>債</u>				0				0				-
訳	•	 般 財	源				6,509				6,952				
		計	ans				6,509				6,952				0
) :	前助率		Ī												
			果												
	助														
平成		₹補正·	流用划				平成26年	度特定財	源内訳						
]予算 子質		6	,711			区分			名称			金額	
	相山	予算			0	-			+				-		
					\dashv	 			+						
									$\Box \Box$						
						F			_						

コツァ弁	0,711
補正予算	0
流用・充用	62
予算合計	6,773

区分	名称	金額
	合 計	0

1. 基本	情報										
事務事	業	01020103	07020102	主茲主当	と夕 ラミジ	才広報事業				担当部	総務部
⊐	ド	0102010	01030102	ずかずっ	K10 //	ス 仏 秋 尹未				担当課	秘書広報課
政策:	名	07	新たる	な行政経営	営によるまな	ちづくり				グループ	広報広聴グループ
施策:	名	03	市民	と行政によ	る情報の	11互活用				電話番号	64-0955
基本事	業名	01	行政'	情報の共る	有					内線番号	1611
子	会計	一般	会計					**	□ 単年度のみ		
算	款	02	総務	費				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	手度 H	17 年度~)
予 算 科 目	項	01	総務	管理費				初申	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	05	広報	広聴費				根拠法令·条例等	なし		
評価区	7分		標準部	平価	評価対象	1次評价	Ħi	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

- MBCラジオ・FMきりしまと契約し、市政情報をはじめ、観光情報やイベント情報などを放送する。

 ③MBCラジオ(放送日:毎週土曜日 午前9時から5分間)

 *平成27年度から内容を刷新し、定時ではなくCMや番組出演等、必要な時に必要な情報を随時放送する。

 ③FMきりしま(平成25年6月開局)
- - FMさりにま(平成25年6月 開局) ・放送日は毎週月曜日〜金曜日、朝8時から10分間、夕方5時半から10分間(番組名:知っ得情報! クロスきりしま) ・10分間のうち、3分半は情報を発信したい市の担当課の職員や関係者がスタジオに出向き、パーソナリティーとの対談形式で収録。 残りの時間は、市の広報誌に掲載してあるお知らせ情報を放送。 ・イベントの中止情報、台風接近に伴う情報等を随時放送したり、緊急時はFMきりしまとの協定により市が直接割り込み放送を行うことが可能。

ന	活動指標(事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
Ľ				(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	MBCラジオ放送回数		口	52	52	52	64	64
1	FMきりしま放送回数		回	***	195	261	262	261
ゥ								
(2	:) 事務事業の目的							
_	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	県民	人口(県人口動態調査)	人	1,689,511	1,680,319	1,669,110	***	***
1	市民	人口	人	127,475	127,283	126,773	129,360	129,679
ゥ								
	意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	市の情報を知ってもらう	放送回数(MBCラジオ)	回	52	52	52	64	64
1	市の情報を知ってもらう	放送回数(FMきりしま)	□	***	195	261	262	261
ゥ								
(3	りとはの基本事業							
_	基本事業の意図	⑦基本事業の成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(5	らにどのような成果に結びつくのか)	(左記⑥意図の達成度を表す指標)		(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア	市政情報を共有する	市民に必要な情報提供がなされると思う市民の割合	%	66.2	65.1	68.4	69.5	71.5
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

- ・FMきりしまが平成25年6月に開局。スマートフォンのアプリにより、世界中で聞ける。
 ・中山間地域の市民よりFMきりしまを聴くことができないとの声がある。

4.	事	类	の‡	隹移			単位	24年度 (決算)	25年 度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
			玉	庫3	支出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	D	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			1	般	財	源	千円	2,027	4,389	5,084	3,984	3,984
量		事	業	費			千円	2,027	4,389	5,084	3,984	3,984

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

<左記の実績(取組)による成果を記載

【MBCラジオ】

・毎週土曜日、霧島市の旬の話題を県民の皆さんにお知らせした。 【FMきりしま】

IPMきりしまの収録管理台帳を作成し、グループ内で情報を共有した。 ②広報誌の絵はがきにイベント情報欄にFMきりしまの紹介を掲載した。 ③広報誌への掲載依頼があった際に、FMきりしまへでも周知するよう随 時呼びかけた

- ①出演依頼、原稿提出状況等を一覧で確認できるようになり、業務が円
- 滑に進行できるようになった。 ②FMきりしまのスマートフォンのアプリのダウンロード数が確実に増加し
- でおり、FMさりしまの聴取者が増加したと考えられる。 ③FMさりしまでの収録について、職員の出演がスムーズに行えるようにな
- ④現状と改善策について説明を受けた。横川地区に新たなアンテナを設けることでカバー率を向上できるとのことであった。 ⑤市民生活に密着した情報を提供することでFMきりしまの認知度が向上

Ę	事務	事業 -ド	01020	10507030102	事 務 事業名	=	ラジオ広	報事業	ŧ		当		総務部 必書広報	
6.	振り	返り <	SEE>								理「	<u> </u>		
	(1)	この事	務事業(の目的は、基本	事業の意図に終	古びついています	ナか?		報をラジオによ るので、施策体				女の活動	か内容が明ら
	_		結びつ	いている				73 (C/g)	SOUND CONTRACTOR	->I\ C\\\L	0 51	CV .Do		
A				いたい。 に結びついてし										
目的				いていない										
A目的妥当性	<u> </u>			ぜ市が行わなけ	ればならないの	つですか?		行政情	報を中心とした	市の情	報提供	共であるため	、妥当で	である。
性	(2)	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?									
			妥当で											
			見直す	必要がある				-44 EB 44-	F型子 +7. 次 □ 水7	1.1	フよい	~ la DL I +	L VM 11114	L+ 1M 0-1-
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか	١?			標を放送回数。 ないことから成					化増やすこ
			向上す	る余地はかなり	ある				ナ番組の聴取≥ があるとなるが				票として請	ひ定でき、向
			向上す	る余地はある程	≧度ある			工水地	11-187-212-12-1311-	\ DUIN	C141L:	TE COAV.		
			向上す	る余地はほとん	どない									
В	4	廃止•	木止の景	/響はありません	か?				ジオの市政情を与えることは					
B 有 効		_	影響が	· ある					直接伝えること					
性			影響が	ほとんどない										
	(5)			象・意図)又は			の事務		事業がある場			発行事務事		
				んか?(市以外の	の主体が実施する	ものを含む。)			事務事業名等 で告知する情報			ジ管理運営事 広報誌等の		
)事業はない)事業はあるが、	なみりけ 連携	でキかい		等をもと	このだりまで に放送原稿を できない。					
)事業はめるが、)事業があり、統					7 - 3 - 7					
	<u></u>						かっ	MBCラ	ジオは週1回の	の放送で	であり、	委託内容を	見直す	ことで費用を
	6	•補助金	など、交	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	、市の負担を削減	或できませんか?		ーレから	きる。FMきりし、経営的に安か	まにつ	いては 放送体	平成25年度 制を支援す	に開局! るために	って間もない も当面は現
				きない				状のま	まが望ましい。					
C 効			削減で			h /75 A NK 75-1-70	to alta solls	酔号の	業務は放送会	壮しのま	77 (A) TA	7.5 士!/ 事效	レーセルンと	原籍の佐武
率性	7	できませ	んか?	设(やり方)を工夫で なや委託により人作			を削減	である。	乗務は放送式 原稿について するために、情	it. MI	3C&F	Mきりしまの	放送原	稿を効率的
				きない	T SE E E III CE E	2.00		原稿の	作成時間を短	縮できる),	14 (2/11/11/11		
			削減で											
	8			容が一部の受益					ジオは市内の					
D 公		5/21.		担の公平性が	確保されていま	すか?		とができ	では電波が届だ るが、スマート Oと考えられる。	フォンを	を使うさ	7は年齢構成	え的にも	偏りが見ら
公平性				公正である - 					必要に応じて				· MI & 9 C	スまに以音を
H														
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組制	決定)	【参考】前	年度の改	革改善の方	前性≪	継続	・やり	方改善	≫	
		多事業(継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	約	た 合	休止		廃止
改訂	善の?	方向性		0	0									
						島市のイベント情 放送を改め、MI								
		成27年月	度の改	うにし、全体的な	なコストの削減を									
		の内容	課題)	きりしまに早期の 検討を行う必要	の改善を要望す	る。また基地局	の新たた	·整備等	について関係	機関と	重携し、	必要に応じ	て財政に	的な支援の
						文できるよう株式 て、職員のスキノ								
(0)	\ TI =	÷ooÆ 5	±	*川以用報留社	10万4又要水(二, 万人,	(、戦員のヘイ)	レノツノ・	正図の に	(4) (こ百) レノノ 神だ	主て安市	1天旭	9 Do		
		成28年月 双組目標												
8.	2次	評価結	果(推	当部長評価)										
		多事業(の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コ자	縮小	連携	約	· 在合	休止		廃止
改割	善方∣	向性												
							•			•				
(2))総	評												

事務事業 0102010507030102	事務事業名	ラジ	ジオ広報事業	担当部担当課	総務部 秘書広報課
9. コストの推移					
(単位:千円)	平成26年度	き (決算)	平成27年度 (当初予算	1)	平成28年度 (計画)
1 報 酬					
2 給 料					
3 職員手当等					
4 共 済 費 5 災 害 補 償 費					
7 賃 金					
8 報 償 費					
9 旅 費					
10 交 際 費					
11 需 用 費 消 耗 品 費		0		0	0
燃料費					
食 糧 費					
印刷製本費					
光熱水費					
修 繕 料 賄 材 料 費					
飼料費					
医薬材料費					
12 役 務 費		0		0	0
通信運搬費					
広 告 料 手 数 料					
保険料					
13 委 託 料		5,084		3,984	3,984
14 使用料及び賃借料					
15 工事請負費					
16 原 材 料 費 17 公有財産購入費					
18 備品購入費					
19 負担金補助及び交付金					
20 扶 助 費					
21 貸 付 金					
22 補償補填及び賠償金 23 償還金利子及び割引料					
24 投資及び出資金					
25 積 立 金					
26 寄 附 金					
27 公 課 費 28 繰 出 金					
計		5,084		3,984	3,984
国庙支出全		0		0	
村		0		0	
特定 出金 県 支 出 金 財源 本 の 他 で の 世 で の 日 1		0		0	
内 源 そ の 他 ー 般 財 源		5,084		3,984	3,984
計		5,084		3,984	3,984
地 1 国					, <u> </u>
県					
補助基本額					
平成26年度補正•流用状			度特定財源内訳	夕折	△ ##
当初予算 補正予算	5,08	0	区分	名称	金額
		1	+		
					

流用・充用

予算合計

5,085

				平成27	年度	事務事業振	返りシート	. (3	平成26年度 実施事業	美の振返り)				
1. 基本	情報													
事務事		01020105	507030103	車	ホームペ	ページ管理運営	丰栄			担当部	総務部			
⊐─⊦	'	0102010.	07030103	尹 扬尹未石	N 4	、 ノ目圧圧呂-	尹禾			担当課	秘書広報課			
政策	名	07	新たた	な行政経営に	よるまちづく	(9				グループ	広報広聴グループ			
施策	施策名 03 市民と行政による情報の相互活用 電話番号 64-0955													
基本事	基本事業名 01 行政情報の共有 内線番号 1611													
予	会計	一般	会計				± ₩		単年度のみ					
算	款	02	総務署	費			事業 期間		単年度繰返 (開始年	F度 H	17 年度~)			
予 算 科 目	項	01	総務管	管理費			初申		期間限定複数年度		~)			
目	目	05	広報』	広聴費			根拠法令·条例等	なし						
評価区	[分	;	標準評	·価 評(西対象	1次評価	関連計画							
2. 事務	事業(の概要	要・目:	的·指標	<do></do>									
(1)事	務事詞	集の根	既要()	具体的なやり	ち、手順、	詳細を記述)								
霧島市	ホーム	~~:	ジの管:	理運用を行う	事務事業。									
【具体的机	ま手順	年の	~°33	よ々 切 半 錮 み	(佐武,油井	3	(1) (1) (1) (1) (1)	17-1	-ムページ掲載承認を	たおおして				
②秘書広	戦、火報課で	こをして	ジを確	を付担 3 味が [認し、公開す	る。	(し、脳口目壁石(他	(_11,-	ムペーン拘収を配る	に似根する。				
③その他	、広報	誌の智	電子版	やイベントカレ	シダー、バ	ドナー広告の掲載	を秘書広報課	で行	ð.					
【その他】 市の行政	情報を	迅速	、的確	、効果的に提	供するため	、各課のホームペ	ージ管理担	当者を	対象にホームページ	作成操作研修	を実施する。			

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 霧島市のページ数		ページ	2,238	2,571	2,872	3,279	3,300
イ ホームページ作成研修回数		口	2	2	2	2	2
ウ ホームページ作成研修参加者数		人	50	33	46	50	100
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
市民	市民の数	人	127,475	127,283	126,773	129,360	129,679
1 国民	(市民の数のみを掲載)	千人					
<mark>Ծ</mark>							
② 意図(②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 市政情報を知ってもらう	アクセス件数(トップページ月平均)	件	38,535	35,709	26,895	40,000	40,000
1							
<mark>力</mark>							
(3) 上位の基本事業			'				
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 行政の活動内容が明らかになる	市民に必要な情報提供がなされていると思う 市民の割合	%	66.2	65.1	68.4	69.5	71.5
1							
<mark>ф</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 ・スマートフォンの普及により、スマートフォンからホームページを見ることができるようになった。 ・フェイスブックやラインの普及に伴い、フェイスブックやラインで行政情報を発信する自治体が増えてきている。 ・市ホームページをスマートフォン対応にしている自治体が増えている。 ・ホームページの外国語の自動翻訳ソフトが誤訳が多いとの指摘がある。 ・ホームページに動画を組み込む。自治体が増え

・ホームペー	ジに動画を組	み込む自	治体が地	曽え
てきている。				

1	1	nia d	-	t on t	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	ř	4,2	大具	.077	比19			丰四	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
1				国	庫3	支出	金	千円	0	0	0	0	0
ı	l	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
ı	l	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
ı	l	費	訳	そ	0	D	他	千円	987	987	1,015	1,016	1,016
ı	投 入			_	般	財	源	千円	0	0	0	0	9,718
ı	量		剚	業	費			千円	987	987	1,015	1,016	10,734
ı	_												
ı	l												
ı	l												
ı	l												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

•ホームページ担当職員研修会の実施

・ホームページ担当者研修等で情報更新を迅速に行うように依頼しているが、課によっては情報更新の遅れが目立つ。

哥	務	事業 -ド	01020	10507030103	事 務 事業名	ホーム・	ジ管理運営事業 <mark>担 当 部 総務部 担 当 課</mark> 秘書広報課										
6.			SEE>	•	于木山					担	理日		ラル 戦闘	K.			
	_				事業の意図に約	古びついています	ナか?		ムページから市 ゝになることに		報を入手		行政の活	5動内容			
				いている				からしのん	*(C/4/2)_C(C)	Na UNIO	\ 0						
A				いている に結びついてし	 \る												
的				いていない													
A目的妥当性	<u> </u>			ぜ市が行わなけ	ければならないの	つですか?			女情報を提供			役割であり、市	7民に知り	らせる責			
性	(2)			て達成する目的]ですか?			務がある	Sことから妥当 [*]	である。							
			妥当で														
	0			必要がある				市ホー。	ムページがスト	マートフ	'ォンにタ	け応していない	ため、全	·面リニュ			
	(3)	成果が	「向上す	る余地(可能性)	はありませんか	v.š		ーアルファイス	が必要である。 ブックやツイッ	ター	スマート	フォン対応への	の連動が	できろ新			
			向上す	る余地はかなり	Jある 			しいシス情報提	テムに移行す 共ができるよう	ること になる	で、情報 ことから、	入力の操作性 ホーム―ペー	:が高まり -ジの閲り	、迅速な 覧数の増			
				る余地はある程				加が期	寺できる。								
			向上す	る余地はほとん	どない			古の体:	報を入手する村	≪△ぶ	油加ま	- n 詳今由処	ができわ	1+22			
B	4	廃止・作	木止の景	/響はありません	しか?				申請様式をダワ								
B有効性			影響が	ぶ ある				(CR)音/	у-Щ,⊙°								
ıΞ			影響が	「ほとんどない													
	⑤			対象・意図) 又は たんか?(市以外の		啓発等)を持つ他 sものを含む。)	の事務	類似 合の	事業がある場 事務事業名等			発行事務事業 「広報業務					
			類似の	事業はない				広報誌	等の取材や情	報提供	資料を	共有することで	で連携して	こいる。			
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない											
			類似の	事業があり、統	合又は連携でき	きる											
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、 市の負担を削減	慢を削減できません 成できませんか?	か?		はホームペー: フトウェアの保								
		-		きない				*バナ	これ以上の削 一広告で一般	減余地 財源な	」はない。 こし。充当	後の広告料に	は他の事	業に充て			
Ç			削減で	:====================================				ている。									
C効率性	(7)	・事務事できませ		役(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減	できる。また、各課で作成し秘書広報課で確認して公開する流れ									
1 또	W)			なや委託により人	件費を削減できま	せんか?		なっているが、迅速に公開するために担当課で作成し担当課長が 承認すれば公開できる仕組みにすることで秘書広報課の管理業系									
			削減で	きない				- 本部すれば公開できる仕組みにすることで秘書広報課の官理業 制制減できる。									
		- 76 +	削減で					++	ムページはす~	・・・ナの	した八日	目1 デハファル	1.2 亚州	- 14% 人 144			
D	8			容が一部の受益 負担の公平性が				公平。す	ンページはり た、市の情報 ではない。								
D公平性			公平・岔	公正である				wy. 3 () v.	· (12/24 0								
1±			見直す	必要がある													
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>快定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改造</th><th>革改善の方</th><th>向性≪ 継</th><th>続・や!</th><th>り方改善</th><th>・コスト縮小</th><th>></th><th></th></f<>	PLAN>(組織	快定)	【参考】前	年度の改造	革改善の方	向性≪ 継	続・や!	り方改善	・コスト縮小	>				
(1)	主系	多事業の	かみ苦	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	;	統合	休止	J	廃止			
		方向性	744		0	0											
革引	大善(成27年原 の内容 むべき		査を実施し、予	のアクセス数が 算要求を行う。 を早急に開設す	年々大幅に減少 ける。	としている	らことから	、ホームページ	ジを平	成28年月	きにリニューア	ルするた	めの調			
		뷫28年原 双組目標		・ホームページ	のリニューアル(だのできる	だけ早い時期	明に公	開できる。	ようにする。 							
8. :	2次	評価結	果 (排	当部長評価)													
(1)	事務	务事業の 向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	;	統合	休止	J	廃止			
(2)	総	評															

事務事業コード	0102010507030103	事 務 事業名		ホームペ	ージ管理運	営事業		3当部 3当課		総務部 書広報課
9. コスト(の推移									
	(単位:千円)	平成26年度	(決	算)	平成27	年度 (当初予算	算)	平	成28年度	(計画)
1 報	西州									
2 給	料									
	員手当等									
4 共 5 災	<u>済費</u> 害補償費									
7 賃	金									
8 報										
9 旅	費									
10 交	際費									
11 需	用費			0			0			0
	消耗品費 然 料費									
_	然 11 夏 食 糧 費									
E	印刷製本費									
	光熱水費									
-	修繕料									
	所材料費 詞料費									
	四									
<u></u> 12 役	務費			0			0			0
_	通信運搬費									
	太 告 料									
_	手数料									
	保 険 料 託 料			1.015			1.016			10.794
	1			1,015			1,016			10,734
	事請負費									
16 原	材 料 費									
	財産購入費									
	品購入費									
19 _{負担:} 20 扶	金補助及び交付金 助 費									
20 <u>次</u> 21 貸	付 金									
	<u></u> 補填及び賠償金									
	金利子及び割引料									
	資及び出資金									
25 積 26 寄	<u>立 金</u> 附 金									
26 寄 27 公	<u>™ </u>									
 28 繰	出金									
計				1,015			1,016			10,734
特	国庫支出金			0			0			
特定財源	果 支 出 金			0			0			
財源内訳 定財源 一	<u>地 方 債</u> そ の 他			1,015			0 1,016			1,016
訳	般 財源			0			0			9,718
	計			1,015			1,016			10,734
補助率	国									
	県									
	基本額	b >=								
	度補正·流用状 切る質		1	平成26年	度特定財源 区分	以内訳	名称			金額
	初予算 正予算	1,016 0	-	その他	ム ガ	広告掲載料				金額 1,015
						1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1				
-			-							
			1							
			1							

1,015

流用・充用 予算合計

1,016

1. 基	本情報										
事務	事業	0100010	507030104	車	**タ	一把き	りしま発行事業			担当部	総務部
□-	ード	0102010	507030104	争伤争	未和	仏拟る	りしま光打事未			担当課	秘書広報課
政策		07	新たる	な行政経	営による	るまちつ	づくり			グループ	広報広聴グループ
施領	兼名	03	市民	と行政に	よる情幸	最の相2	互活用			電話番号	64-0955
基本專	事業名	01	行政	情報の共	有					内線番号	1611
子	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ		
算	款	02	総務	費				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ^生	F度 S	26 年度~)
予算科目	項	01	総務	管理費				初间	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	05	広報	広聴費				根拠法令·条例等	なし		
評価	区分		標準部	平価	評価	対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

毎月2回発行。 〇カラー版(毎月1回上旬に発行)=市政方針、計画に基づいた特集、歴史や自然、風土を取り入れた記事、健康情報や子育て支援、環境対策、 環霧・湾奥情報などを掲載している。読者のコーナーでは市民の意見などを掲載し、霧島市をPRする絵はがきや市内店舗で利用できるクーポン券 を添付し、手にとってもらえる広報誌を目指している。 〇お知らせ版(4月と1月を除き、毎月下旬に発行、2色刷り)=行政、各種団体からのお知らせ、出生・死亡の案内、保健情報などを掲載している。

【発行までの流れ】 ①掲載記事について年間計画を作成、②年間計画をもとに編集会議(先月号の反省、次号の編集方針検討) ③編集作業(取材、写真撮影、原稿作成、レイアウト、校正)、④発送(自治会を通じた市民への配布、スーパーや公共施設への配置)

1	活動指標(事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
Ľ				(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	年間発行回数(上旬号12回、お知	らせ版10回)	旦	22	22	22	22	22
1								
ゥ								
(2	?) 事務事業の目的							
_	対象 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	市民	市内の対象世帯	世帯	54,968	55,322	55,564	56,987	57,635
1								
ゥ								
_	意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	市の情報を市民に知ってもらう	広報誌を読んでいる人の割合	%	84.3	82.3	83.7	84.0	85.0
1	市の情報を市民に知ってもらう	市民が広報誌を読んでいる割合(20~29歳)	%	57.7	51.0	50.0	56.1	58.7
ゥ	市の情報を市民に知ってもらう	市民が広報誌を読んでいる割合(30~39歳)	%	74.7	68.1	70.8	74.9	76.4
(3	3)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	市政情報を共有する	市民に必要な情報提供がなされていると思う 市民の割合	%	66.2	65.1	68.4	69.5	71.5
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

・市民から寄せられる読者のお便りでは広報誌に対する高い満足度が感じられる。平成25年度から開始した絵はがきやクーポン等も評価が高

・「自治会未加入世帯へも郵送してほしい」との 声や、自治会加入促進のために「大型スーパー 等に広報誌を置くのはおかしい」との意見が寄せられている。 ・広報誌に二次元コードを設け、スマートフォン やタブレット端末から動画を見ることができるよう にしている自治体が増えている。

4	4. 事業費の推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度			
4.	777	R.R.	TCO.	生物			半位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費に	そ	0)	他	千円	5,795	5,526	5,742	5,850	5,850	
投入量	월 [_	般	財	源	千円	27,103	28,087	27,836	27,540	27,582
量		事	業	費			千円	32,898	33,613	33,578	33,390	33,432

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載

- ・主として若者の読書率を高めるために二次元コードを使ってイベント等 の動画を見られるようにした。 ・広報きりしまの発行をお知らせするために国分駅に掲示板を設置した。
- ・読者の声をホームページやスマートフォンからも投稿できるようにした。
 ・200号特集として「広報きりしまは必要か?」と関して特集を企画した。企業の協賛をいただき豪華賞品のプレゼント企画を行った。
 ・思い出の味のコーナーをFMきりしまで番組として制作していただいた。
 ・国立公園のコーナーの取材を南九州ケーブルテレビにも同行してもち
- ・国立公園のユーケーの取材を用力がゲーブルケレとにも同打してもらい、ケーブルテレビで放送するとともにパソコンやスマートフォンから動画で見られるようにした。
 ・ i 広報誌に登録しスマートフォンで広報誌を見られるようなった。
- ・200号記念特集で広報きりしまに対する多くの貴重なご意見を得ることが
- できた。(回答数905通) ・FMきりしまや南九州ケーブルテレビとの連携により、広報きりしまのPR
- ・平成26年12月号が全国広報コンクール市の部で三席を獲得。3部門入

・平成26年12月 号が全国広報コンクー選は霧島市初。
 広報誌 市の部 三席(第4位)
 組み写真の部 1席(2位)
 企画部門 入選

Į.	事務事業コード	01020	10507030104	事務事業名	広報	万報专川 主発行事業					务部 な報課			
6.	振り返り	<see></see>	•					-	理由					
	 この 	事務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	詰びついています	か? 東彩	情報を広く市民 事業であり結び	に伝え、行	「政の活	舌動内容を知っ`	てもらうための			
	•	結びつ	いている			70	ず来でのが旧り	. JV . CV	J ₀					
A			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 いる										
的			いていない											
A目的妥当性	② · この	事業をな	ぜ市が行わなけ	ればならないの	のですか?)概要、事業を市	民に伝える	ることは	行政の責務で	あり、妥当であ			
性	· 1元 I		て達成する目的	ですか?		<u>る。</u>								
		妥当で	:める ⁻ 必要がある											
_	_					201	代の読書率が低い	ハことから、	若い世	せ代に読んでもら	ううための取組			
			る余地(可能性)), , ,	を行	うことで成果を向]上させるタ	全地がる	ある。				
			る余地はかなり				_							
			る余地はある程											
			る余地はほとん			市国	長が市の情報を入	手する機	会が極	端に減少すると	ともに、広報き			
B有効	(4) 廃止		ど響はありません	ν か ?			まを毎月楽しみに							
効性		影響が												
	○ 粗化		「ほとんどない	形能(ノベヽ.し 圴	啓発等)を持つ他(の事数・	I似事業がある場	法二).	~	管理運営事業				
			んか?(市以外の			É	の事務事業名等	ラジオロ	5報事	業議会だより				
			事業はない			また	けの情報を共有し、広報誌のデー	タを電子書			でも読むこと			
			事業はあるが、			/// /	きるようにしてい	්ටං -						
	。 . 車数		事業があり、統		きる <mark>貴を削減できません</mark>	かっ	を 費は印刷製本費	事が主であ	ろ デ	ザインコンペ方	ずを採用し契			
	6 補助	か金など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	載できませんか?	約し	ている。印刷費のためには4ペー	の削減のた	めには	はページ数の削	咸しかないが、			
		削減で				下す	¯る。また、特集記 ある紙面づくりが	己事も組め	なくなり)、読んでもらうた	こめのインパク			
C 効		削減で			th (750 A N) 75 - 1 00 A	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	最誌編集には企画	后力 女舎	h E	直提影の世後年	* 性ょわせ具			
率性	(7) できま	せんか?	设(やり万)を工夫で なや委託により人作		貴(延べ業務時間)を せんか?	がす	x恥禰来には正じ なめられ、スキル同 見を削減することだ	句上には相	当な時	非間を要すること	から効率的に			
	49,0		きない	T SE E E I SE E E		を減	らすことは難しい),	*/C\ 1	-1 4	少八米奶啊间			
		削減で	きる											
_			容が一部の受益			自治	会を通じた配付	・やスーパ・	ー・公共 にして	は施設への配置 いるので、受禁	により、全ての 幽会は公平			
D公平:	= \$12.		公正である	唯体でもしている	.9 // :	しか	世帯に広報誌が行きわたるようにしているので、受益機会は公平。 しかし、自治会未加入者でスーパー等まで交通手段がない高齢者 等から送付の要望もあり、自治会加入促進との関係も考慮しながら							
性			必要がある			——— 対応	こしていく必要がる	ある。						
7	1次評価領	結果 <	PLAN>(組織	*決定)				AND AND		And in				
_	· SANTIMA	THAT (年度の改革改善		継続	・コスト	休止	≫			
	事務事業 手の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統	合	が正	廃止			
			0											
革)平成27年 改善の内 り組むべ	容	・若い世代の読・平成27年度に	書率を高めるだ 本市で実施され	とめに、動画で見 れる様々なイベン	ることができ トや市政課!	る記事を拡大させ	せる。)やすく伝:	える。					
) 平成28年 生•取組目		・市の情報を市	民に知っていた	ただき、市政への	関心を高める	るために広報誌の	り読書率を	·向上さ	ぜる。				
8.	2次評価	結果 (担	当部長評価)											
)事務事業		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統	슴	休止	廃止			
	事務事業 善方向性	とい以早		7/7级音	-21 J/A/C		在 1万	ואינו						
(2))総 評			l	<u>. </u>		1	1		l				

l	- I.		尹未石		担当課	秘書広報課
	1 7—6 1	0102010507030104	事務事業名	広報きりしま発行事業	担当部	総務部

9. =	ストの	D推移			
		(単位:千円)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度(計画)
1	報	西州			
2	給	料			
3		員 手 当 等			
4	共	済 費			
5		害補償費			
7	賃	金			
8	報	償 費	36	45	90
9	旅	費	80	127	110
10	交	際費			
11	需_	用 費	33,162	32,923	32,937
		肖 耗 品 費	58	60	74
	炒				
	1				
	E	[] 刷製本費	33,104	32,863	32,863
	커	比熱 水費			
	俏	多繕料			
	Þ	有材料費			
	食	司 料 費			
	13	医薬材料費			
12	役	務 費	300	276	276
	ĩ	通信 運搬費	300	276	276
	戊	5 告 料			
	月	F 数 料			
	俘	录 険 料			
13	委	託 料			
14	使用	料及び賃借料	0	10	10
15	I	事請負費			
16	原	材 料 費			
17	公有	ī財産購入費			
18	備占	品購入費			
19	負担金	金補助及び交付金	0	9	9
20	扶	助費			
21	貸	付 金			
22	補償	補填及び賠償金			
23	償還金	金利子及び割引料			
24	投資	【及び出資金			
25	積	立 金			
26	寄	附 金			
27	公	課費			
28	繰	出 金			
	計		33,578	33,390	33,432
	姓 [3	国庫支出金	0	0	
日士	特定財源		0	0	
財源内訳	財出		0	0	
内	源る		5,742	5,850	5,850
加	_	般 財源	27,836	27,540	27,582
		計	33,578	33,390	33,432
	ᆂᆎᆓ	国			
*	甫助率	県			
補	助	基本額			

平成26年度補正•流用状況

当初予算	33,838
補正予算	0
流用・充用	94
予算合計	33,932

平成26年度特定財源内訳

	r JWN	
区分	名称	金額
その他 その他 その他	広告掲載料	4,620
その他	雑入	120
その他	雑入	1,002
	合 計	5,742

1.	基本	情報											
事	務事	業	0102010	507030105	主	**タ	山部碧	 蜂座事業				担当部	総務部
	그ー	'	0102010	07030103	尹 ⁄办尹:	*1	ᄪᄪ	# 生 尹 未				担当課	秘書広報課
ī	政策名 07 新たな行政経営によるまちづくり						るまち~	づくり				グループ	広報広聴グループ
施策名 03 市民と行政による情報の相互活用						級の相互	互活用				電話番号	64-0955	
基	本事	業名	01	行政情	青報の共	有						内線番号	1611
3	▲土 前本人⇒1.								± ₩	□ 単年度のみ			
复	算	款	02	総務費						事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ^生	F度 H	20 年度~)
₹ T	予算科目	項	01	総務管	管理費					初申	□ 期間限定複数年度	(~)
ŀ	∄	目	05	広報店	広聴費					根拠法令·条例等	霧島市出前講座実施要維	到	
評	価区			標準評	価	評価	対象	1次評値	西	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

出前講座は市職員等が地域に出向き、市民に市政に対する理解を深めてもらうための講座で、出前講座のメニューは広報誌やホームページ、チラ 当時辞年は市場関係が必要に出国さ、市民に自身に対する全体を使じている。 ・市民等で構成する10人以上のグループ・団体で申込み、職員等を講師として派遣する。 ・出前講座を実施する会場等の予約は主催者で行う。 ・出前講座の開催日時は、12月29日から1月3日までの日を除く午前9時から午後9時までのうち2時間。

- ・開催場所は、霧島市内。 ・費用は無料。
- *秘書広報課は出前講座の総括を担当している。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	講座数		件	64	61	61	59	60
1	講座の開催回数(延べ)		回	484	444	493	500	510
ゥ	講座の開催回数受講者数(延べ)		人	33,013	28,180	34,735	35,000	36,000
(2	?)事務事業の目的							
_	対象 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	市民	市民の数	人	127,475	127,283	126,773	129,360	129,679
1								
ゥ								
_	意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	市政に対する理解を深めてもらう	講座内容を理解された市民の割合	%	99	98	99	100	100
1								
ゥ								
(3	り上位の基本事業							
6	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	行政運営の透明性の確保	市民に必要な情報提供がなされていると思う 市民の割合	%	66.2	65.1	68.4	69.5	71.5
1								
ゥ								
_								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などが

環境変化としては特にない。 市民からの意見も特に寄せられていない。

4	車重	生物	ທ‡	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	7.7			E15			+12	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫ま	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	J	ל	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	7	7	4	7	7
量		哥	業	費			千円	7	7	4	7	7

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

出前講座のメニューを広報誌やホームページ、チラシ、地区公民館長会 、FMきりしま等で紹介した。 講座回数 前年比 延べ 49回増(11%増) 講座受講者数 前年比 延べ6,555人増(23%増)

특	事務	事業 -ド	01020	10507030105	事 務 事業名	出前講座	拍講座事業 担当部 総務部 担当課 秘書広報課									
6.	振り	返り <	(SEE>	•							理	由				
	1				事業の意図に終	昔びついています	デか?	のであ	務事業・市政に り、それによって 動内容を明らか	(市政)	に対す	員が ^り する理	地域に出向い 解を深めても	て説明するも らうとともに、行		
Α				いている	. 7											
A目的妥当性				に結びついてし	い る			_								
妥业				いていない	11.186.56.5			-t- x(+) x		ヒレー	\ +_ +	ゴノー 1	ルナの気動	また 土職星		
袓	2	•税金	を投入し	て達成する目的	ければならないの ですか?	ひですか?			対する理解を済いて説明するこ					ごめり、甲槭貝		
			妥当で													
	3	成果が		必要がある る余地(可能性)) はありませんか	n. S		受講者の方の理解度は高く、成果指標の向上余地はほとんどないといえる。								
			⇔ ⊾ +	る余地はかなり	1 左 フ			ただし、	。 講座受講者が ハく必要がある。		てい	るため	り、出前講座の)利用者を増		
								, , ,	(20.50.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00)						
				る余地はある程												
		_	同上す	る余地はほとん	しとない			± 7417	⇒→フェ田 毎刀 ナ、ツ	ピムナ	1251	W. 스 .	がは小子で			
B 有	4	廃止・作	木止の影	響はありません	しか?			111以()	対する理解を浮	KØ) (1	しりソ1	残云/	1000990。			
B有効性			影響が	ある												
I.E.			影響が	ほとんどない												
	⑤				形態(イベントや) の主体が実施する	啓発等)を持つ他 ものを含む。)	の事務		事業がある場 事務事業名等							
			類似の	事業はない					の説明という点							
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない			星択できないため							
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる										
	6	·事務事 ·補助金	「業の手段 など、交	g(やり方)を工夫 ⁻ 付先に働きかけて	することで、事業費 、、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	しか?	事業費	はチラシ作成等	穿最少	限の紀	経費で	であり、削減の	余地はない。		
			削減で	きない												
C 効			削減で	きる												
率性	7	できませ	んか?		することで、人件費 件費を削減できま	費(延べ業務時間): せんか?	C 13/194	施され	報課の業務は、 た出前講座のま の事務であるこ	[績報	告書	等の耳	対りまとめを行	っており、必要		
		•	削減で	きない												
			削減で	 きる												
Ď	8				全者に偏っている 確保されていま				プや団体が主作れば、誰でも申 市政に対する理					のであり、市民 Fである。		
公平性			公平・∕	公正である				無料で	開催しており、	受益者	負担	に関し	しても公平・公	正である。		
性			見直す	必要がある												
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>数決定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改革</th><th>改善のプ</th><th>方向性≪</th><th>継</th><th>売・や</th><th>り方面</th><th>女善</th><th>»</th></f<>	PLAN>(組織	数決定)	【参考】前	年度の改革	改善のプ	方向性≪	継	売・や	り方面	女善	»		
(1)	(事系	多事業の	おおり	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	í	統合		休止	廃止		
		方向性	744	0												
				平成26年度の	L 出前講座の受講	1 構者は前年度より	<u> </u> 大幅に5	曽えたこ	L とからその要因	 を分す	斤し、	平成2	8年度の講座	を企画する。		
		成27年月 の内容	度の改													
		むべき	課題)													
				出前講座をさら	っに利用してもら	うために、様々な	な宣伝媒	体を活	用して受講者が	大に	努める) _o				
		.														
		成28年月 双組目標														
_																
8.	2次	評価結	果 (担	当部長評価)												
(1) 改記	事務	务事業の 向性	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	ń	統合		休止	廃止		
					1											

事務	事業・ド	0102010507030105	事 務事業名		出前講座事業					担当部 担当課	総務部 秘書広報	
9. ⊐	ストの	推移										
		(単位:千円)	平成26年	丰度	(決算)		平成27	年度 (当初]予算)	平	成28年度 (計画	1)
	報	西州										
	給職員	料 手 当 等										
	共	<u>. 于 ョ 寺</u> 済 費										
-		解補 償 費										
	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費										
	旅	費										
10	交	際費										
11	需習	用 費 耗 品 費				4			7			7
	燃燃					- 1						1
	食											
		刷製本費 熱 水 費										
	修											
	-	材 料 費										
	飼	料 費 薬材料費										
12	<u> </u>	務費				0			0			0
		信運搬費										
	広手	<u></u> 告 料 数 料										
	保											
	委	託 料										
		料及び賃借料 「請 負 費										
		材料費										
	公有	財産購入費										
		i 購入費 補助及び交付金										
	扶	助費										
21	貸	付 金										
		填及び賠償金 利子及び割引料										
		及び出資金										
25	積	立 金										
	<u>寄</u> 公	附 金 課 費										
	公 繰	出 金										
	計					4			7			7
1	持国	庫支出金 支出金				0			0			
財源内訳	特定財源国 県 地 そ	<u>文 田 亜</u> 方 債				0			0			
訳上	_	٠, ا				0			0			
ш	<u> </u>	般 財源 計				4			7			7
1-2	D4 -5	国				4			1			
	助率	県										
		基本額	h 15		_							
平成2		補正・流用 ∜ 〕予算	に光	7	平月		度特定財源 区分	内訳	名称		金	額
		予算		0					11 17		<u> </u>	455
				\dashv	-							
				-								
	法中	- 女田										
		• 充用 [<mark>合計</mark>		7								0

1. 基本情事務事第コード	440		27年度		100 0 -1-1	返りシ-	٠١٠	(十成20千皮	実施事業の	7.旅巡り)		
コード	性	+ -h + -#		' - 104+ E		· ^ &	مللد ملت			担当部	総務部	
	0102010599999901				関係各種協議	会等参回	1事業			担当課	秘書広報課	
政策名 施策名		な行政経営(と行政による			H					<u>グループ</u> 電話番号	広報広聴ク 45-5111	<i>・</i> ループ
基本事業	7 7 7	情報の共有	1H +K V / 14 -	<u>-111</u> /	.11					内線番号	1611	
予全	十一般会計	#				事業		□単年度の∂		he ss	15 5 55	`
 	款 02 総務 項 01 総務	<u></u> 管理費				事業期間		■ 単年度繰過 □ 期間限定額		世 H	17 年度	~)
1.1	目 05 広報	広聴費				根拠法令·条	例等	_ MINIARCI				,
評価区分			F価対象			関連計	画					
	業の概要・目 事業の概要(<do></do>	詳紅	明を記述)							
	B協会負担金 4			、中小								
【加盟す	ることによるメリッ	ット】										
全国	□広報協会発行 □広報コンクール	/等の各コン	クールに出									
・日本	広報協会の主	催するセミナ	一に参加	するこ	ことができる。(え	参加費は別	」途必要	₫)				
①活動推	旨標 (事務事業	の活動量)					単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	100 (3.33 3.30							(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア												
1												
ウ												
	事業の目的			An 11.								
② 対象 (難 何を	対象にしている	のみり	3 対 (左章		禄 †象の大きさをネ	ます指揮)	単位	. 24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
	編集業務	V213-)	(/1. [1]		家ツハロでも	以 9 1日1示/		(天順)	(天順)	(天/)與/	()[2]	(902)
		r										
	ページ運営業務	ì										
ウ					. 150			5				
④ 意図 (の対象な	とどうしたいのか))	⑤成 (左記)		禄 図の達成度を割	長才指揮)	単位	. 24年度 - _(実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
	<u>こが行される</u>	/	(/		四、定次及23	区 / 1日/示/		(天/)與/	(天順)	(大/)與/	(11/5)	(11/15)
ر المراجعة	-2112100											
ウ (a) 1.4												
_	の基本事業 事業の意図		⑦基	太事	業の成果指	煙		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
~ -··	ような成果に結び	びつくのか)			図の達成度を表		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア市政情	報を共有する											
1												
ウ												
	* 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	L 士日辛!	a Ada					0.4左座	05年度	00年度	07左帝	00左座
	業の環境変化 業を取り巻く環境変化、市			4.	事業費の推和	多	単位	(決算)	(決算)	(決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
・ホームペー	-ジに動画を組る					支出金	千円			0	0	0
てきている。		Total of a	1		事源地	出金	千円			0	0	0
	・端末から動画を	見ることがて	トンォン ごきるよう		事機の表現を表現します。	<u>方</u> 債の他	千円 千円			0	0	0
やタブレット						と財源	千円	_		42	42	42
やタブレット	自治体が増えて	v .0°								1	40	42
やタブレット	自治体が増えて	۷ _۱ ۳۰		量	事業費		千円	0	0	42	42	42
やタブレット	自治体が増えて	v <i>v</i> 5°		投入量	事業費		千円	0	C	42	42	42
やタブレット	自治体が増えて	v ''ఎ°		量.	事業費		千円	0	C	42	42	42
やタブレット	自治体が増えて	v ''ఎ°		量.	事業費		千円	0	C	42	42	42
やタブレット にしている f				入量.	事業費		千円	0	C	42	42	42
やタブレット にしている f	自治体が増えて 3年度の実績 86年度の実績	ひび成果	、取組内容を		事業費	(2) ³		年度の成果		42		
たしている自 5. 平成26 (1)平成2	3年度の実績ス	とび成果 (取組)	、取組内容を 参			,-,	平成26		; <左記	この実績(取組){	こよる成果を記載	t>
やタブレット にしている f 5. 平成20 (1) 平成2	3年度の実績及 6年度の実績	とび成果 (取組)	<取組内容を参			,-,	平成26	年度の成果	; <左記	この実績(取組){	こよる成果を記載	t>
やタブレット にしている f <mark>5. 平成20</mark> (1) 平成2	3年度の実績及 6年度の実績	とび成果 (取組)	、取組内容を			,-,	平成26	年度の成果	; <左記	この実績(取組){	こよる成果を記載	t>
やタブレット にしている f 5. 平成20 (1) 平成2	3年度の実績及 6年度の実績	とび成果 (取組)	K取組内容を 多			,-,	平成26	年度の成果	; <左記	この実績(取組){	こよる成果を記載	t>
やタブレット にしている f <mark>5. 平成20</mark> (1) 平成2	3年度の実績及 6年度の実績	とび成果 (取組)	· 取組内容全數			,-,	平成26	年度の成果	; <左記	この実績(取組){	こよる成果を記載	t>
やタブレット にしている f 5. 平成26 (1)平成2	3年度の実績及 6年度の実績	とび成果 (取組)	、取組内容を			,-,	平成26	年度の成果	; <左記	この実績(取組){	こよる成果を記載	t>

	事務事業コード	01020	10599999901	事務事業名	広報広聴関	係各種協	協議会等参画事	*			務部 広報課
6.	振り返り	<see></see>							理由		
	① この事	務事業の	り目的は、基本	事業の意図に約	詰びついています	トか?					
		結びつ	いている								
A H		間接的	に結びついてい	いる							
A目的妥当性		結びつ	いていない								
当性			ぜ市が行わない て達成する目的	tればならないの hですか?	つですか?						
		妥当で									
		見直す	 必要がある								
	3 成果#	が向上する	る余地(可能性)) はありませんか	١?						
		 向上す	る余地はかなり	 Jある							
		向上す	る余地はある私	 呈度ある							
		向上す	る余地はほとん	しどない							
B	(4) 廃止·	休止の影	響はありません	·····································							
B有効性		影響が	<u></u> ある								
性		影響が	ほとんどない								
					啓発等)を持つ他	の事務	類似事業がある 合の事務事業名	場			
	● 事表16		ーー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の主体が実施する	らものを含む。)		台の事務事業名	寺			_
				 、統合又は連携	できたい						
				合又は連携で							
	事務	事業の手段	と(やり方)を工夫	することで、事業費	と 削減できません	か?	日本広報協会が	定めた会	≩額であり、肖	削減できない。	
				て、市の負担を削減	ずできませんか?						
C		削減で 削減で									
効率				することで、人件者	と (延べ業務時間):	を削減	事務に係る時間は	は伝票差	 昼引が主であ	り、必要最低限	な時間で
性	(7) できまt	せんか?		件費を削減できま			ていることから削減	或できな	V '0		
		削減で	きない								
		削減で									
D	⑧ 事務等	事業の内容 受益者負	容が一部の受益 担の公平性が	益者に偏っている 確保されていま	ませんか? すか?						
D 公平性		公平・公	公正である								
性		見直す	必要がある								
7.	1次評価網	課 <f< th=""><th>PLAN>(組制</th><th>散決定)</th><th>[金表]前</th><th>年度の改革</th><th>改善の方向性≪</th><th></th><th></th><th></th><th>»</th></f<>	PLAN>(組制	散決定)	[金表]前	年度の改革	改善の方向性≪				»
(1)	事務事業	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト組			統合	休止	廃山
	事の手条		0	1 777			AL 19		190 🖂		
				<u>┃</u> に深く読み込み	 、霧島市の広報	 誌やホー	 ·ムページの運営!	<u> </u> に活用っ	ナる。		
(2)	平成27年	度の改									
革改	攻善の内容 り組むべき	!									
VDV	7/III-0 C	HALK AZZI									
(AX											
(AX			・広報誌の読書						1-4		
		* C - !				ューアル	に向けて、日本広	報協会	の情報を活	用する。	
(3)	平成28年 生·取組目	度の方票				ューアル	に向けて、日本広	報協会	の情報を活	用する。	
(3)) 平成28年 生• 取組目	度の方票				ューアル	に向けて、日本広	報協会	の情報を活	用する。	
(3)	平成28年 生·取組目相	度の方票			ニームページ リニ	ューアル	に向けて、日本広	報協会	の情報を活	用する。 	
(3)	平成28年 生·取組目 2 次評価 編	票		三予定しているホ		ューアル	に向けて、日本広	報協会	の情報を活	用する。	
(3) 向性 8. 2	生·取組目相 2次評価報 事務事業	課(担	•平成28年度に	三予定しているホ	ニームページリニ	ューアル			の情報を活	用する。 休止	廃山
(3) 向性 8. 2	生·取組目相 2次評価報	課(担	• 平成28年度 当部長評価)	こ予定しているオ							廃止
(3) 向性 8. 2	生·取組目相 2次評価報 事務事業	課(担	• 平成28年度 当部長評価)	こ予定しているオ							廃止
(3)向性	生·取組目標 2次評価報 事務事業 善方向性	課(担	• 平成28年度 当部長評価)	こ予定しているオ							廃止
(3)向性	生·取組目相 2次評価報 事務事業	課(担	• 平成28年度 当部長評価)	こ予定しているオ							廃止

1 整 照	事務事		0102010599999901	事 務 事業名		広報広聴関係	系各種協議会等参	画事業		当部	総務部 秘書広報課
1 報	9. コス	くトの	推移								
1 報			(単位:千円)	平成26年	E度	(決算)	平成27年度	(当初予算)		平成28	年度 (計画)
2	1 \$	据		1 770==			1770=1712	(1 774=	1,2 (11)
4 共 済											
5											
7 宮 金									_		
3									-		
9 旅											
日											
消耗品 景											
# 報 費	11 F					0	'		0		0
放送											
 光熱水費 修繕料料費 図料費 医薬材料費 (日本) (日本)											
修 結 料 問											
所材料費											
調整											
医薬材料数 0 0 0 0 0 0 0 0 0									+		
12 校 務											
広告料	12 1	安	務 費			0)		0		0
手 数 料											
保険料 13 要託料 14 使用製化労債料 15 工事請負責 16 原材料費 17 公有財産購入費 18 備品購入費 18 備品購入費 19 知能金物及以び付金 22 特別費 21 貸付金 22 指稿制収及び服金 3 衛温金件系の研別料 24 投資及び出資金 25 積立金 6 高別金 27 公課費 28 繰出金 3計 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42											
13 委託 料											
15 工事請負費	13 💈										
16 原 材 料 費											
17 公有財産購入費											
18 備品 購入費									-		
19 角組金輔助及U交付金 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42 42											
21 貸 付 金 22						42	;		42		42
22 補償補填及び賠債金 23 模選金軒F及び制別料 24 投資及び出資金 25 積 立 金 26 寄 附 金 27 公 課 費 28 線 出 金 1											
23											
24 投資及び出資金 25 積 立 金									-		
26											
27 公 課 費 28 線 出 金											
28									_		
計									-		
大			ш 亚			42	:		42		42
対			庫支出金								
R	財産	県	支 出 金						-		
R	源原源	地									
計	訳 —										19
相助率):									
補助基本額	2井口	计 蒸	围								
平成26年度補正·流用状況 平成26年度特定財源内訳 当初予算 42 補正予算 0 流用·充用 流用·充用											
当初予算 42 区分 名称 金額											
流用・充用				代況	40	平成26年			Ø ₹h		A str
流用・充用							丛 万		石		
											<u> </u>
											
					\dashv						+
					_						
	:	奈田	•								
予算合計 42 合 計 0					42			合 計			0

				平原	戊27年	<u>∓度</u>	事務事業振遠	返りシート	· (平成26年度 実施事業	業の振返り)			
1. 基本	情報												
事務事コート		010201019	199999907	事務事	業名	総務-	一般管理関係各種	協議会等参	:画事業	担当部担当課	総務部 秘書広報課		
政策名 07 新たな行政経営によるまちづくり										グループ	秘書グループ		
施策名 02 信頼される行政経営の推進										電話番号	64-0916		
基本事	基本事業名 01 市の担うべき役割の重点化										1212		
予	会計	一般:	会計					□ 単年度のみ					
算	款	02	総務	費				事業期間	■ 単年度繰返 (開始年				
予 算 科 目	項	01	総務	管理費				MILI	□ 期間限定複数年度((~)		
目	目	01	一般	管理費				根拠法令·条例等					
評価区	.分	1	簡易評	平価	評価	対象	1次評価	関連計画					
2. 事務	事業の	の概要	要•目	的-指標	_ <	Do>							
(1)事	務事	集の#	概要(具体的な	やり方	、手順、	、詳細を記述)						
県内や九長会、全国	県内や九州、全国の各市間の連絡調整を図り、市政の円滑な運営と進展に寄与することを目的にそれぞれ組織された、鹿児島県市長会、九州市 長会、全国市長会に加入し、県や国に対しての効果的な要望活動や各市間の連絡調整をスムーズに行う。												

【負担金】 各市長会については、加入市からの負担金を基に運営を行っている。 負担金額は各市の人口等により算定される。

C) 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	会議数(県市長会、九州市長会、全国市	市長会)	口			20	20	20
1	加入市数(県/九州/全国)		市数			19/118/813	19/118/813	19/118/813
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的					,	'	
_) 対象 誰、何を対象にしているのか)	3 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
	市長	(ALIDE/N SKY) YOURS		(大阪)	(大/)具/	(大順)	(762)	()[22)
1								
ゥ								
_) 意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	各市との連絡調整が行える							
1	国・県への要望活動が行える							
ゥ								
_	3)上位の基本事業							
_) 基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	行政の担うべき役割分担に基づき重 点化される							
1								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

ゥ

議会の一般質問においても、各市で共同して解 決しなければならない課題については、県市長 会等を通じて県や国への要望を行う旨の答弁を 行う場合がある。

7	重要 さ	e ale	ωt	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
+	-		TCO.	上19			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
		国庫支出金					千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円			0	0	0
	費別		そ の		他	千円			0	0	0	
投入量			_	般	財	源	千円			2,360	2,587	0
量		事	業	費			千円	0	0	2,360	2,587	0

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

負担金補助及び交付金 合計2,360,000円 【全国市長会】 573,000円 【九州市長会】 125,000円 【鹿児島県市長会】 559,000円 【 〃 軽自動車税特別会計】 1,103,000円

各市長会に加入することで、各市との連絡調整や県・国等に対して効果 的な要望活動が行えた。

哥	務	事業 -ド	01020	10199999907	事務事業名	総務一般管	理関係:		議会等参画	担担	当	部課		務部 広報課
6.	_	<u>'</u> 返り <	(SEE)	>	学 术节		Ŧ.			担		由	松音	以
	_				事業の意図に終	きびついています	ナか?							
			結びて	いている										
A				かに結びついてい	 \る									
的亞			結びつ	いていない										
A目的妥当性	2	•この *ごの ***	事業をな	ぜ市が行わなけ	ければならないの	のですか?								
II		- 祝金?	妥当で	て達成する目的	J C 9 70'?									
				 - - - - - - - - - - - - - - - -										
Н	3			る余地(可能性)		n 2								
	9					<u>' ' ' </u>								
				「る余地はかなり 「 る余地はある科										
				る余地はほとん										
_	(1)			ジ響はありません										
B有効性	•													
知性			影響カ 影響カ	`ぬる ヾほとんどない										
	(5)	類似の	目的(対	 対象・意図) 又は	形態(イベントや)	 啓発等)を持つ他	の事務	類似	事業がある場 事務事業名等					
	<u> </u>	事業は	ありませ	けんか?(市以外(の主体が実施する	らものを含む。)		合の	事務事業名等					
)事業はない)事業はあるが、	統会又け連携	できかい								
)事業はのるか、)事業があり、統										
	6	·事務事	業の手具	设(やり方)を工夫で	することで、事業費	きを削減できません	いか?	負担金	については人	口等を	差に	決ま		余地はない。。
	0			付先に働きかけて	、市の負担を削減	或できませんか? 								
C		_	削減で	きない 										
C効率性		-事務事	業の手具		することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減			いてに	t、最/	小限の	の時間で対応	できているので
性	7	できませ	んか?	なや委託により人				、削減に	は困難である。					
			削減で	きない										
			削減で	きる										
D	8			容が一部の受益 負担の公平性が										
D公平性			公平・	公正である										
性			見直す	必要がある										
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組織	战决 定)	【参考】前	年度の改革	革政善の方	前性≪					>
(1)	事系	多事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小			統合		休止	廃止
		方向性		0										
				要望事項を市政	L 政に反映させて	L いくために、各F	市長会や	各市間の	の連携をより強	化する	5.			
(2)	平瓦	戊27年 月	度の改											
		の内容	課題)											
				平成28年度も5		国に対しての効気	果的な要	望活動	や各市間の連絡	絡調團	ををス。	ムーン	ズに行うため、	各市長会や各
(3)	亚丘	龙28年 月	きの方	中寺と座場し、		- CV \ \ \ 0								
向性	生・取	双組目標												
			m_44	ale des El El des										
8.	200	評価結	果(推	当部長評価) 										+ .
		务事業の 向性	の改革	継続 ———	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止
	1731	- 71T												
(2)	総	評												

	8事業 ード	0102010199999907	事務事業名	総務一	-般管理関	係各種協議会等	等参画事業	担当		総務部 書広報課
9. =	コストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	き (決:	算)	平成27年度	E (当初予算))	平成28年度	(計画)
1	報	酬	1 770== 1 7	~		1774=1715			177-172	(112)
2	給									
3		手 当 等								
4	共	済 費								
5		解補償費								
7	賃 報	<u>金</u> 償 費								
9	 旅									
10	 交									
11	需	用 費			0			0		0
		耗 品 費								
	燃									
	食									
		刷製本費 熱 水 費								
	修									
		材料費								
	飼									
		薬材料費								
12	役	務費			0			0		0
		信運搬費								
	広									
	手保									
13	\1木 委	険料 託料								
14		<u></u>								
15		請負費								
16		材料費								
17		財産購入費								
18	備品	購入費								
19		補助及び交付金			2,360		2	2,587		2,587
20	扶	助 費								
21 22	貸端偿益	付 金 i填及び賠償金								
23		現及び知慎並 利子及び割引料								
24		及び出資金								
25	積	立 金								
26	寄	附 金								
27	公	課費								
28	繰	出 金			0.000			. 507		0.505
	計回	庫支出金			2,360		2	2,587		2,587
	特県				0			0		
財源	特定財源国 県 地 そ				0			0		
財源内訳	源 そ				0			0		
訳		般 財源			2,360			2,587		
		計			2,360		2	2,587		0
*	甫助率	国								
		県 サーナー 毎								
補		基本額	h >==				-			
平成		E補正・流用も		10	平成26年	度特定財源内	א	夕孙		-
	当 利]予算 予算	2,4	0		区分		名称		金額
	110.77	- 1 21-		Ť						
				_			<u> </u>			
				_						
				_						
				-						
				-						

流用・充用 予算合計

2,410